

資 料

1. 調査団員・氏名
2. 調査行程
3. 関係者（面会者）リスト
4. 討議議事録（M/D）
5. 参考資料
6. その他の資料・情報

1. 調査団員・氏名

1. 調査団員・氏名

現地調査Ⅰ(期間：2012年10月7日から同年11月3日まで)

氏名	担当分野	調査期間	所属
岡村 昭夫	総括	10月7日～10月12日	JICA 人間開発部 参事役、計画・調整課課長
安松 茂	業務主任/ 建築計画	10月7日～11月3日	株式会社 山下設計
津本 正芳	副業務主任/ 建築計画	10月7日～11月3日	株式会社 山下設計
望月 裕明	建築設計/ 設備計画1	10月7日～11月3日	株式会社 山下設計
永井 清志	教育計画1	10月7日～11月3日	株式会社 コーエイ総合研究所
和田 泰司	教育計画2	10月7日～11月3日	株式会社 コーエイ総合研究所
鈴木 修	施工計画/ 積算	10月7日～11月3日	株式会社 山下設計
浅沼 靖子	機材・ 調達計画1	10月7日～11月3日	ビンコーインターナショナル 株式会社
錦 麗絵	機材・ 調達計画2	10月7日～11月3日	ビンコーインターナショナル 株式会社
黒田 信吾	業務調整	10月7日～10月21日	株式会社 山下設計

現地調査Ⅱ(期間：2012年12月2日から同年12月22日まで)

氏名	担当分野	調査期間	所属
佐久間 潤	総括	12月2日～12月9日	JICA 人間開発部 次長兼基礎教育グループ長
池田 亜美	計画管理	12月2日～12月9日	JICA 人間開発部 基礎教育グループ 基礎教育第一課
安松 茂	業務主任/ 建築計画	12月2日～12月8日	株式会社 山下設計
津本 正芳	副業務主任/ 建築計画	12月2日～12月22日	株式会社 山下設計
横山 元晴	建築設計/ 設備計画2	12月2日～12月22日	株式会社 山下設計
永井 清志	教育計画1	12月8日～12月20日	株式会社 コーエイ総合研究所
鈴木 修	施工計画/ 積算	12月2日～12月22日	株式会社 山下設計
浅沼 靖子	機材・ 調達計画1	12月2日～12月22日	ビンコーインターナショナル 株式会社

現地調査Ⅲ 環境社会配慮調査1次(期間：2013年3月3日から同年3月16日まで)

氏名	担当分野	調査期間	所属
安松 茂	業務主任/ 建築計画	3月3日～3月9日	株式会社 山下設計
五十嵐 堅治	環境社会配慮	3月3日～3月16日	株式会社 コーエイ総合研究所

現地調査Ⅲ 環境社会配慮調査2次(期間：2013年3月23日から同年4月13日まで)

氏名	担当分野	調査期間	所属
安松 茂	業務主任/ 建築計画	4月6日～4月13日	株式会社 山下設計
五十嵐 堅治	環境社会配慮	3月23日～4月13日	株式会社 コーエイ総合研究所

現地調査Ⅲ 施設機材計画・自然条件調査(期間：2013年6月30日から同年7月6日まで)

氏名	担当分野	調査期間	所属
津本 正芳	副業務主任/ 建築計画	6月30日～7月6日	株式会社 山下設計
横山 元晴	建築設計/ 設備計画2	6月30日～7月6日	株式会社 山下設計

現地調査Ⅲ 環境社会配慮調査3次(期間：2013年8月1日から同年8月31日まで)

氏名	担当分野	調査期間	所属
五十嵐 堅治	環境社会配慮	8月1日～8月31日	株式会社 コーエイ総合研究所

現地調査Ⅳ ドラフト説明調査(期間：2013年12月22日から同年12月28日まで)

氏名	担当分野	調査期間	所属
末森 満	総括	12月22日～12月27日	JICA シニア課題アドバイザー
松山 剛士	協力企画	12月22日～12月27日	JICA 人間開発部 基礎教育グループ 基礎教育第一課
安松 茂	業務主任/ 建築計画	12月22日～12月28日	株式会社 山下設計
横山 元晴	建築設計/ 設備計画2	12月22日～12月28日	株式会社 山下設計

2. 調查行程

2. 調査日程

現地調査 I (日程 2012 年 10 月 7 日～同年 11 月 3 日: 28 日間)

日順	日付	曜日	機構団員	チームA					チームB			
				(a-1)	(b)	(d)	(f-2)	自社負担	(a-2)	(c)	(e)	(f-1)
				業務主任/ 建築計画	建築設計/ 設備計画 1	教育計画 2	機材・調達 計画 2	業務調整	副業務主任/ 建築計画	教育計画 1	施工計画/ 積算	機材・調達 計画 1
			岡村 昭夫	安松 茂	望月 裕明	和田 泰司	錦 麗絵	黒田 信吾	津本 正芳	永井 清志	鈴木 修	淺沼 靖子
1	10/7	日	成田-バンコク-ヤンゴン									
2	10/8	月	JICA事務所打合、EOJ、BERDC、教育セクターチーム協議、資機材調査									
3	10/9	火	教育セクター調査、資機材調査、ヤンゴン→ネーピドー									
4	10/10	水	教育省計画訓練局(DEPT)挨拶・協議、資料収集									
5	10/11	木	ネーピドー→ ヤンゴン→バン コク	ネーピドー→タウンゲーEC調査(バゴー地域東部)→ヤンゴン					ネーピドー→タウンゲーEC調査(バゴー地域東部)→ネーピドー			
6	10/12	金	成田着	ヤンキンEC調査(ヤンゴン市内)					ネーピドー→メイッティーラEC調査(マンダレー地域)→マンダレー			
7	10/13	土		ヤンゴン建設市場、機材代理店調査					マンダレー建設市場、機材代理店調査			
8	10/14	日		ヤンゴン→パアン(カレン州)					マンダレー→タウンジー/ニャウンシュエ(シャン州南部)			
9	10/15	月		パアンEC調査→モラマイン(モン州)					ニャウンシュエ→タウンジーEC調査→ニャウンシュエ			
10	10/16	火		モラマインEC調査(モン州)					タウンジー/ニャウンシュエ→マンダレー			
11	10/17	水		モラマイン→ヤンゴン					マンダレーEC調査			
12	10/18	木		ヤンゴン→レゲーEC調査(ヤンゴン地域)→ヤンゴン					マンダレー→サガインEC調査(サガイン地域)→マンダレー			
13	10/19	金		ティンガンジュンEC調査(ヤンゴン市内)					マンダレー→UDNR/サガインIOE調査(サガイン地域)→マンダレー			
14	10/20	土		チャウッピューEC、ボガレイEC関係者インタビュー(ヤンゴンにて)					ミッチーナーEC、モンユワEC関係者インタビュー(マンダレーにて)			
15	10/21	日		ヤンゴン→パテイン(エーヤーワディー地域)			ヤンゴン→ バンコク	マンダレー→ニャウンウー				
16	10/22	月		パテインEC調査					ニャウンウー→パコックEC調査(マグウェ地域)→ニャウンウー			
17	10/23	火		パテイン→ミャウンミャEC(エーヤーワディー地域)→パテイン					ニャウンウー→ピエ			
18	10/24	水		パテイン→ヤンゴン					ピエEC調査(バゴー地域)			
19	10/25	木		ダウェイEC関係者インタビュー(ヤンゴンにて)					ピエ→ネーピドー、報告書作成			
20	10/26	金		ヤンゴン→ネーピドー、DEPT報告・協議					マグウェEC関係者インタビュー(ネーピドーにて)、DEPT報告・協議			
21	10/27	土		報告書作成					報告書作成			
22	10/28	日		団内会議、報告書作成					団内会議、報告書作成			
23	10/29	月		DEPT協議、分野別協議					DEPT協議、分野別協議			
24	10/30	火		DEPT協議、資料整理、報告書作成					DEPT協議、資料整理、報告書作成			
25	10/31	水		DEPT協議、ネーピドー→ヤンゴン、建設事情、機材補足調査					ネーピドー→ヤンゴン、建設事情、機材補足調査			
26	11/1	木		再委託先調査		専門家協議等	機材補足調査		再委託先調査	専門家協議等		
27	11/2	金		JICA事務所、日本国大使館報告	建設事情調査	JICA事務所、日本国大使館報告	JICA事務所、補足調査		JICA事務所、日本国大使館報告	収集資料まとめ	再委託先調査	機材補足調査
				ヤンゴン→バンコク					ヤンゴン→バンコク			
28	11/3	土		→成田					→成田			

DEPT: 教育省教育計画・訓練局

BERDC: 基礎教育リソース開発センター

EC: 教員養成校

現地調査Ⅱ(日程 2012年12月2日～同年12月22日: 21日間)

日順	日付	曜日	機構団員		(a-1)	(a-2)	(b-2)	(f-1)	(c)	(e)
			総括		業務主任/建築計画	副業務主任/建築計画	建築設計/設備計画2	機材・調達計画1	教育計画1	施工計画/積算
			佐久間 潤							
			計画管理		安松 茂	津本 正芳	横山 元晴	浅沼 靖子	永井 清志	鈴木 修
1	12/2	日	成田→バンコク→ヤンゴン							成田→バンコク→ヤンゴン
2	12/3	月	JICA事務所、日本国大使館	再委託調査見積徴集、ヤンゴン→ネービードー			機材・家具調達調査、ヤンゴン→ネービードー		再委託調査見積徴集他(ヤンゴン)	
3	12/4	火	(ヤンゴン→ネービードー飛行機)	教育省副大臣挨拶・協議、計画訓練局(DEPT)協議					再委託調査見積徴集他(ヤンゴン)	
4	12/5	水	教育省副大臣・計画訓練局(DEPT)協議						再委託調査見積徴集他(ヤンゴン)	
5	12/6	木	ミニッツ協議・署名、タウンゲー敷地調査他、タウンゲー→ヤンゴン						ヤンゴン→タウンゲー敷地調査→ヤンゴン	
6	12/7	金	日本国大使館、JICA事務所報告			建設事情調査	機材・家具調達調査		建設コスト調査	
			ヤンゴン→バンコク							
7	12/8	土	ヤンゴン→バンコク	→成田	計立案検討	建設事情調査	機材・家具調達調査	成田→バンコク→ヤンゴン	建設コスト調査	
8	12/9	Su	→成田	ヤンゴン→ミッチーナ(カチン州、飛行機)						
9	12/10	Mo	ミッチーナEC調査(カチン州)							
10	12/11	Tu	ミッチーナEC関連調査、ミッチーナ→ヤンゴン(飛行機)							
11	12/12	We	ヤンゴン→タウンゲー、タウンゲータウンシップ協議		ヤンゴン→タウンゲー、タウンゲーEC調査		JICA教育関連調査団等と協議	2に同じ		
12	12/13	Th	タウンゲーEC調査	タウンゲーEC調査	タウンゲーEC調査		DEPT情報収集	2に同じ		
13	12/14	Fr	土地関連協議	計立案検討	タウンゲーEC調査		DEPT情報収集	2に同じ		
14	12/15	Sa	施設計立案作成、協議資料作成			タウンゲーEC調査機材協力計立案策定	協議資料作成	協議資料作成		
15	12/16	Su	タウンゲー→ネービードー、協議資料作成、団内会議							
16	12/17	Mo	DEPT協議、協議資料・報告資料作成							
17	12/18	Tu	計立案作成、協議資料・報告資料作成							
18	12/19	We	協議用資料作成、DEPT協議、報告資料作成						報告資料作成、ネービードー→ヤンゴン→バンコク	報告資料作成、ネービードー→ヤンゴン
19	12/20	Th	DEPT協議、ネービードー→ヤンゴン	DEPT協議、ネービードー→ヤンゴン	DEPT協議、ネービードー→ヤンゴン		→成田	建設コスト調査		
20	12/21	Fr	JICA事務所、日本国大使館報告、ヤンゴン→バンコク	建設コスト調査、ヤンゴン→バンコク	JICA事務所、日本国大使館報告、ヤンゴン→バンコク			建設コスト調査、ヤンゴン→バンコク		
21	12/22	Sa	→成田						→成田	

DEPT:教育省教育計画訓練局 EC:教員養成校 DG:局長

現地調査Ⅲ 環境社会配慮調査 1次(日程 2013年3月3日～同年3月16日: 14日間)

日順	日付	曜日	(a-1)	(g)
			業務主任/建築計画 安松 茂	環境社会配慮 五十嵐 堅治
1	3/3	日	成田→バンコク→ヤンゴン	
2	3/4	月	JICA事務所、日本国大使館、再委託見積書受領	
3	3/5	火	ヤンゴン→ネーピドー、教育省教育計画訓練局協議	
4	3/6	水	タウンゲー建設用地、タウンゲーEC、タウンゲー大学調査。役所関連ステークホルダーへの協力要請	
5	3/7	木	ネーピドー→ヤンゴン。再委託先選定・ネゴ	
6	3/8	金	再委託先契約。調査方法協議 ヤンゴン→バンコク	
7	3/9	土	→成田	調査方法再確認
8	3/10	日		ヤンゴン→ネーピドー。再委託先作成Inception Reportの確認
9	3/11	月		教育省へ再委託先紹介、協力要請
10	3/12	火		環境社会配慮調査
11	3/13	水		↓
12	3/14	木		環境社会配慮調査
13	3/15	金		ネーピドー→ヤンゴン、JICA事務所報告、ヤンゴン→バンコク
14	3/16	土	→成田	
EC:教員養成校				

現地調査Ⅲ 環境社会配慮調査 2次(日程 2013年3月23日～同年4月13日: 22日間)

日順	日付	曜日	(a-1)	(g)
			業務主任/建築計画 安松 茂	環境社会配慮 五十嵐 堅治
1	3/23	土		成田→バンコク→ヤンゴン
2	3/24	日		ヤンゴンにてスケジュール調整、再委託先協議等
3	3/25	月		JICA事務所協議
4	3/26	火		再委託先協議、ヤンゴン→タウンゲー
5	3/27	水		環境社会配慮調査(タウンゲーをベース)
6	3/28	木		
7	3/29	金		
8	3/30	土		
9	3/31	日		
10	4/1	月		
11	4/2	火		
12	4/3	水		
13	4/4	木		
14	4/5	金		↓
15	4/6	土	成田→バンコク→ヤンゴン	環境社会配慮調査
16	4/7	日	資料整理	タウンゲー→ネーピドー、報告・協議資料作成
17	4/8	月	ヤンゴン→ネーピドー	団内協議、報告・協議資料作成
18	4/9	火	教育省教育計画訓練局報告・協議	
19	4/10	水	ネーピドー→ヤンゴン、再委託先Phase2業務協議・調整	
20	4/11	木	JICA事務所、日本国大使館報告、再委託先Phase2業務内容の決定	
21	4/12	金	収集資料整理、ヤンゴン→バンコク	
22	4/13	土	→成田	

現地調査Ⅲ 施設機材計画・自然条件調査(日程 2013年6月30日～同年7月6日: 7日間)

日順	日付	曜日	(a-2)	(b-2)
			副業務主任/建築計画	建築設計/設備計画 2
			津本 正芳	横山 元晴
1	6/30	日	成田→バンコク→ヤンゴン	
2	7/1	月	現地再委託契約交渉、再委託契約	
3	7/2	火	ヤンゴン→ネーपीドー。出張中のJICAミャンマー事務所職員他との協議、教育省教育計画訓練局協議	
4	7/3	水	タウンゲーサイト敷地境界・地質調査・揚水調査位置確認、タウンゲーEC調査、DEPT協議 (Technical Note)	
5	7/4	木	ネーピードー→タウンゲー。タウンゲーサイト地質調査・揚水調査位置再確認・修正指示。タウンゲー→ヤンゴン	
6	7/5	金	現地調査報告(案)作成。ヤンゴン→バンコク	
7	7/6	土	→成田	
			DEPT:教育省教育計画訓練局	EC:教員養成校

現地調査Ⅲ 環境社会配慮調査 3次(日程 2013年8月1日～同年8月31日: 31日間)

日順	日付	曜日	(g)
			環境社会配慮
			五十嵐 堅治
1	8/1	木	成田→バンコク→ヤンゴン
2	8/2	金	JICA事務所、日本国大使館報告、再委託先協議
3	8/3	土	再委託先協議
4	8/4	日	ヤンゴン→ネーピードー
5	8/5	月	教育省教育計画訓練局協議
6	8/6	火	環境社会配慮調査(ネーピードー及びタウンゲーにて)
7	8/7	水	
8	8/8	木	
9	8/9	金	
10	8/10	土	
11	8/11	日	
12	8/12	月	
13	8/13	火	
14	8/14	水	
15	8/15	木	
16	8/16	金	
17	8/17	土	
18	8/18	日	
19	8/19	月	
20	8/20	火	
21	8/21	水	
22	8/22	木	
23	8/23	金	
24	8/24	土	
25	8/25	日	
26	8/26	月	▽
27	8/27	火	環境社会配慮調査(ネーピードー及びタウンゲーにて)
28	8/28	水	教育省教育計画訓練局への調査結果報告
29	8/29	木	ネーピードー→ヤンゴン
30	8/30	金	JICA事務所、日本国大使館報告、再委託先協議、ヤンゴン→バンコク
31	8/31	土	→成田

現地調査Ⅳ ドラフト説明調査(日程 2013年12月22日～同年12月28日: 7日間)

日順	日付	曜日	機構団員		(a-1)	(b-2)
			総括	協力企画	業務主任/建築計画	建築設計/設備計画 2
			末森 満	松山 剛士	安松 茂	横山 元晴
1	12/22	日	成田→ヤンゴン			
2	12/23	月	JICA事務所協議、日本国大使館協議、ヤンゴン→ネービードー			
3	12/24	火	教育省教育計画訓練局協議			
4	12/25	水	資料整理、団内協議			
5	12/26	木	ミニッツ署名、ネービードー→ヤンゴン、日本国大使館報告、JICA事務所報告			
			ヤンゴン→			
6	12/27	金	成田		ヤンキンEC視察、建設事情調査。ヤンゴン→	
7	12/28	土			→成田	
			EC:教員養成校			

3. 関係者（面会者）リスト

3. 関係者（面会者）リスト

所属	職位	名前
教育省		
	副大臣	U Aye Kyu
教育計画訓練局	局長	U Ko Ko Tin
	局長	U Bo Win
	副局長	U Win Myint Maung
	部長（総務/財務）	U San Lwin
	部長	Daw Khin Khin Htay
	部長（計画）	Daw Khin Mar Htwe
	部長	Daw Khin Nan Hliay
	部長	Daw Aye Chir
	部長	Daw Khin Khin Atay
	課長	U Ko Lay Win
	課長	U Soe Kyaw Thu
	課長	Daw Mu Mu Auing
	課長（総務/財務）	Daw Khin Khin Gyi
	課長	Daw San San Myint
	課長補佐	Daw Ni Ni Hlaing
	課長補佐	Daw Aye Aye Mon Oo
	課長補佐	U Win
	係長	Daw Hla Than Htay
	計画担当	Daw Aye Aye Tint
	教員	U Kyaw Win Maw Tum
1. ヤンキン EC		
	校長	Daw Khin Wai Myint
	管理部門長	Daw San Khin
	教科教養部門長	U Aung Myat Soe
	教員	U Win Pe
	教員	Daw Aye Aye Win
	教員	U Kyaw Win Maw Tun
2. マンダレー EC		
	校長	Daw Khin Mya Thet
	副校長	U Bo Myint
	管理部門長	Daw Yi Yi Mar
	教科教養部門長	Daw May Khing
	教科教育部門長	Daw Khn Than Aye
	教員（社会）	U Kan Tun
	教員（化学）	Daw Than Than Su
	教員（物理）	Daw Khin
	教員（経済）	Daw Khin Mya Maw
	教員（地理）	Daw Soe Soe Aye
	教員（生物）	Daw Khin San Shwe
	教員（歴史）	Daw Sein
	教員（数学）	U Soe
	教員（数学）	U Zaw Min

所属	職位	名前
	教員 (物理)	Daw Hyay Kyi
	教員 (物理)	Daw Myat Myat Hla
	教員 (化学)	Daw Khin Mar
	教員 (農業)	Daw Khin Khin win
	教員 (農業)	U Win Lwin
	教員 (家庭科)	Daw Phuu Wai
	教員 (美術)	Daw Khin Myo Myat
	コック	U San Hling
	コック	U Kyaw Zaya
3. モーラミヤイン EC		
	校長	Daw Myat Myat Wai
	副校長	Daw Khin Htar Mon
	管理部門長	Daw Myint Win
	教科教養部門長	Daw Khin San Win
	教科教育部門長	Daw Myint Myint San
4. パテイン EC		
	管理部門長	Daw Aye Aye Thowng
	教科教養部門長	Daw Than Than Swe
	教科教育部門長	Daw Than Than Naing
	教員	U Mgint Ang
	教員	Daw Yin Yin Kyi
	事務員	U Ko Ko
	教員	Daw Phan Wai Tun
	教員	Daw Hla Hla Myint
	教員	Daw Tin Ma Latt
5. タウングー EC		
	校長	Daw Kyu Kyu
	副校長	Daw Aye Chit
	管理部門長	U Hrang Bawi Pum
	教員	Daw Soe Soe Mar
	教員	Daw Nay New
	教員	Daw San San Win
	教員	Daw S Myint Khin an Myint
	教員	Daw Nge Nge Zinz
	教員	Daw Khin Phone Htin
	教員	Dawd Nu Nu Yi
	教員	Daw San Myint Kyi
	教員	Kim Myint Myint Theim
	教員	Daw Soe Soe Maw
	教員	Daw Kyi Kyi Win
	教員	Daw Myo Myo Swe
	教員	Daw Sandar Kyaw
	教員	Daw Aye Aye Mon
	教員	Daw San Yu Mawu
	教員	Daw Kihik Pyone New
	教員	Daw Phn Mar Aung

所属	職位	名前
	教員	Daw Kyi Kyi Win
	教員	Myint Myint Sang
	教員	Su Su Left
	教員	Daw Kyi Kyi Ton
	教員	Daw San San Myint
	司書補	Daw Nu Nu
	職員長	U Myint Thu
	附属校校長	Daw Khin Hnin Ye
	附属校教員 (英語)	Kyk Thin Kyaw
	附属校教員 (英語)	Nytar Bu Taer
6. タウンジーEC		
	校長	Daw Nan Phyu Phanng
	副校長	Daw Than Aye
	管理部門長	Daw Win Sandar Tint Shein
	教科教養部門長	Daw Cherry Htun
	教科教育部門長	Daw Koh Bu
	教員	Daw Naw Ehhtoo
	教員	Daw Nan Aye Thin
	教員	Daw Mi Mi Aung
	教員 (音楽)	To Ni Ni Win
	教員	Wai Wai Khaing
	教員	Aye A Nyunt
	教員	Khin Lay Yee
	教員 (化学)	Yin Yin Hla
	教員	Myat Tin Zar Kyaw
	教員	Sao Myat Mon
	教員	Khin Toe Yee
	教員	Daw Sei Sein
	教員	Daw Jennifer
	教員	Daw Chaw Su Win
	教員	Daw Nyo
	教員	Daw Aye Aye Khaing
	教員 (理科)	Daw Khin Hnin
	教員	Daw Ni Ni Wai
	教員	Daw May Nyunt
	教員	Daw Nu Nu Lay
	教員	Daw Aye Aye Nue
	教員	Daw Khin Win Yee
	教員	Daw Mya Win
	附属校校長	U Mya Than
7. マグウェ EC		
	校長	U Anung Ba Thein
	事務員	U Sein Myint
8. モンユワ EC		
	校長	U Khin Ma Aye
	部門長	U Ye Swie

所属	職位	名前
	通訳	Chan Myae Nay Chi
9. ミッチーナーEC		
	校長	Daw Myint yint
	管理部門長	U Htin Bay
	教科教養部門長	Daw Ong Mi Mi
	教科教育部門長	Daw Hla Yin
	事務長	U Soe Htet Aung
	学籍担当職員補	Daw Tin Aye Mu
	学籍担当職員補	U Sau Htang
10. ダウエイ EC		
	校長	Daw Aye Aye
	管理部門長	Daw Aye Myint Ky
	教科教養部門長	Daw Ni Ni Than
11. チャオピューEC		
	管理部門長	Dr Wai Wai Oo
	教員	U Oo Khin Mawng
12. サガイン EC		
	校長	Daw Shw Shw Toe
	管理部門長	U Htein Win
	教科教育部門長	Daw Aye
	教科教養部門長	Dr. Khin Saw Lwin
	教員（英語教育法）	U Ne Win
	教員（英語）	U Cho Thein Uo
	教員（英語）	U Min Nyi Nyi Zaw
	通信教育コース担当	Daw Tin Tin Ohu
	教員（化学）	Daw Tin Tin Aye
	教員（物理）	Daw Zaw May Co
	教員（理科）	U Amug Myint
	教員（生物）	Daw Tyint Thint
	教員（農業）	Daw Thi Thi Naing
	教員（音楽）	Yin Yin Han
	教員（農業）	Daw Yin Yin Mu
	教員（農業）	Daw Than Than Soe
13. メイッテイーラ EC		
	教員（数学）	Un Myint Khing
	教員（家庭科）	Daw Nyo Nyo Kyi
	教員（英語）	Khin Khet Khine
	教員（英語）	Ayea Myat Mon
	コンピューター専門担当	Tin May Htwe
	教員（技術科）	Myint Thein
	教員（物理）	Kay Thi Auang
	教員	Kyu Kyu Myint
	教員（化学）	Aye Aye Thin
	教員（生物）	Daw Khin Cho Aye
	教員（理科）	Yan Aung
	教員（美術）	Kyaw Soe Aung

所属	職位	名前
	教員 (体育)	Myint Ayea
	教員 (体育)	Soe Soe Yee
	教員 (体育)	Thant Zin
	教員 (教育言語)	Khin San Myint
	教員 (英語教育法)	Hnin New Linn Myint
	附属校教員	Daw Tin Zar Thing
	附属校教員 (幼稚園)	Khinkmo Kyaw
14. ミャンミヤ EC		
	校長	Daw Aye Aye Myint
	副校長	Daw Thar Aye
	管理部門長	U Kyaw Wai
	教科教養部門長	Daw Hnin Kyu Oo
	教科教育部門長	Daw Khin Hlaing
	教員	Daw Nilar
	教員	Daw Hnin Yu Lwin
	技師	U San Htay
	教員	Daw Thet Su Hlaing
	教員	Daw Nwet Nwet Kyi
	教員	Daw Nyunt Nyunt shwe
	教員	Daw Mon Mon Myint
	附属校教員	U Myo Win Htun
	附属校教員	Daw Khin Mi Mi
	附属校教員	Daw Pyone Pyone Mar
	附属校教員	Daw Theezar Shein
	附属校教員	Daw Myint Myint Oo
15. レグー EC		
	校長	U Nay Aung Nain
	管理部門長	Daw Khin Khin Win
	教科教養部門長	Daw Win Theingi Kyaw
	教員	Daw Tin Than Oo
	教員	U Nan Shin Khwat
	教員	U Tin Soe
	教員	U Myint Kyaw
	教員	Daw Khin Aye Nywnt
16. ティンガンジュン EC		
	校長	Daw Yu Yu Khaing
	教科教養部門長	Daw Khin Cho Myunt
	教科教育部門長	Daw Ahmer Cho
	教員	Daw Po Po
	教員	U Tun Naing
	教員	U Soe Naing
	教員	Daw Kyin Win
	教員	Daw Htay Htay Han
	教員	U Kyaw Myint
	教員	Daw Son Son Myint
	教員	Daw Khin Aye Mu

所属	職位	名前
	教員	Daw Thu Zen Thein
17. パアン EC		
	校長	Daw Than Than Tint
	副校長	Daw Cho Cho Tint
	管理部門長	U Kyaw Win
	教科教育部門長	Daw Tin Mar Nyo
18. ボガレイ EC		
	校長	U Chit Ko Ko
	管理部門長	Daw Myint Myint Thu
19. ピエ EC		
	校長	Daw San Myint
	副校長	Daw Than Than Mu
	管理部門長	Daw Li Li Shwe
	教科教養部門長	Daw Nyein Thi Aung
	教科教育部門長	Daw Thin Yu
	教員	Daw Khin Myint
	教員	Daw Shwe Hinn Si
	教員	Daw New we Htun
	教員	U Thein Myint
	教員	Daw Khin San Win
	教員	Daw Aye Win
	教員	Daw Mi Mi Khaing
	教員	Daw Tin Myo Khaing
	教員	Daw Lai Yee
	教員	U Aung Win
	教員	Daw Nay Chhi
	教員	Daw Thaw War
	技師	U Kyaw Kyaw Min
20. パコック EC		
	校長	Daw Khin San Myint
	副校長	U Soe Thant
	管理部門長	Daw Nu Nu Lwin
	教科教養部門長	Daw ya Nyo
	教員	Daw May Yhu Swe
	教員	Daw Htay Htay Maw
	教員	U Aung Kyaw San
民族発展大学		
	学長	U Soe Tint
	副学長 (事務)	U Khin Maung Win
	副学長 (教養)	U Htay Lwin
	事務部長	U Kyaw Kyaw Tun
	教育長	U Thein Tint
	教授	Dr. Cho Cho Mar
	教授	Daw Khin San Thint
	教授	U Khin Maung Aye
	講師	Daw Khin Wah Wah

所属	職位	名前
	助講師	Daw Nant Hpwa Soe Lay
	助講師	Daw Thuza
	助講師	U Zam Shin Khine
サガイン教育研究所		
	学長	Yin Win Maung
	副学長	Tint Tint
	財務・事務部長	Tun Thein
	教養支援部長	Nyunt Nyunt Thein
	事務長	Tun Lwin
	記録	Kyi Lin
農業灌漑省		
土地管理局	検査官	U Myint Thwin Oo
タウンゲータウンシップ委員会		
	地区長（総務部）	U Kyaw Thet
	事務局長	U Thuya Myint Aung
	課長（灌漑部）	U Tin Aung
	課長（灌漑部）	U Thein Kyaw
	課長補佐（土地登記部）	U Mya Saung
	係員（土地登記部）	U Win Kyi
	事務官（消防隊）	U Htin Aung Lin
タウンゲータウンシップ委員会（開発委員会）		
	委員	U Tin Win
	委員	U Maung Mya
	委員	U Myint Nyo
タウンゲータウンシップ委員会（村落委員会）		
	委員	U Myint Lwin
	委員	U Kyaw Htwe
タウンゲーインフラ供給委員会		
	技師（通信）	Daw Khin Thuzar Kyaw
	技師（電力供給公社）	U Zaw Zaw Aung
タウンゲー測候所		
	係員	Daw Thuzar Moe
建設省		
	技師長	Daw Ei Ei Myo
	監督技師	U Thein Oo
	技師長（水処理局）	U Ye Myint
在ミャンマー日本国大使館		
	参事官（経済・経済協力担当）	松尾 秀明
	二等書記官	多田 清富
	二等書記官	有馬 純枝
	経済協力調整員	石原 綾香
JICA ミャンマー事務所		
	所長	田中 雅彦
	次長	稲田 恭輔
	次長	斎藤 克義
	所員	壇上 克人

所属	職位	名前
	所員	伊佐 康平
	企画調査員	櫻井 典子
	基礎教育アドバイザー	増田 知子
国連児童基金 (UNICEF) ヤンゴン事務所		
	国際コンサルタント (教員教育)	Prof. Frank Hardman
	プログラム担当、教育課	U Win Aung
	国際コーディネーター, CESR	Mr. Maurice Robson
アジア開発銀行 (ADB) ヤンゴン事務所		
	シニア教育経済専門家、人間・社会開発部門	Mr. Chris A. Spohr
	国際コンサルタント (高等教育)	Martin Hayden
	国内アドバイザー, CESR	U Tun Hla
	タスクマネージャー, CESR	Daw Tin Tin Shu
	教員教育調査員, CESR	Daw Aye Aye Myint
	教員教育国内コンサルタント, CESR	Dr. Khin Zaw

4. 討議議事録(M/D)

(1) 現地調査Ⅱ

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON PREPARATORY SURVEY ON THE PROJECT FOR
REHABILITATION OF EDUCATION COLLEGES
IN
THE REPUBLIC THE UNION OF MYANMAR

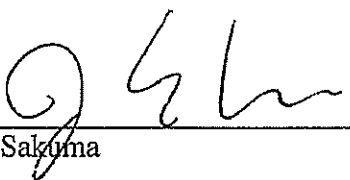
In response to a request from the Government of the Republic of the Union of Myanmar (hereinafter referred to as "Myanmar"), the Government of Japan decided to conduct a Preparatory Survey on the Project for Rehabilitation of Education Colleges in Myanmar (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA has sent Myanmar the Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Mr. Jun Sakuma, Deputy Director General and Group Director for Basic Education, Human Development Dept., JICA and is scheduled to stay in Myanmar from December 2 to 21, 2012.

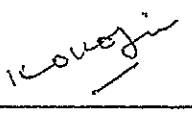
The Team held a series of discussions with the officials concerned of the Myanmar Side and conducted field survey at the study area.

In the course of discussions and field survey, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

Nay Pyi Taw, December 6, 2012



Mr. Jun Sakuma
Leader,
Preparatory Survey Team,
Japan International Cooperation Agency



Mr. Ko Ko Tin
Acting Director General,
Department of Educational Planning and
Training,
Ministry of Education, Myanmar

ATTACHMENT

1. Objectives of the Project

This Project aims at strengthening teacher training system by improving its infrastructure and equipment of educational facilities for Education Colleges (hereinafter referred to as "EC"s).

2. Title of the Project

Both sides discussed and confirmed the name of the Project as "the Project for Rehabilitation of Education Colleges in the Republic of the Union of Myanmar".

3. Purpose of the Preparatory Survey

The Myanmar side understood that the purposes of this preparatory survey were to explain the Japan's Grant Aid Scheme to Myanmar side and to formulate the Project to satisfy the conditions of the Japan's Grant Aid, as explained by the Team with the Inception Report.

The Myanmar side further understood that the implementation of the Project would be finally determined by the Government of Japan based on the result of this survey.

4. Responsible and Implementing Organization

The responsible organization of the Project is Department of Educational Planning and Training, Ministry of Education and the concerned organizations of the Project are Department of Basic Education 1, 2 and 3. The organization chart of the implementing organization is shown in ANNEX 1.

5. Target EC Selection Criteria

Both sides agreed that the final candidate site for the Project is Taungoo EC based on the criteria described in ANNEX 2.

6. Project Components

(1) For the Taungoo EC site

The Team confirmed that the Project components requested by the Myanmar side are described in ANNEX 3. Both sides agreed that the appropriateness and feasibility of the request would be further assessed by JICA from the technical and financial point of view. The components to be supported by the Project will be selected based on the overall result of this survey and within the budget constraints of the Government of Japan. Both sides agreed that project components to be supported by the Government of Japan were prioritized based on the following conditions and the priority of facilities was categorized (from A to D) as in ANNEX 3.

- 1) Basic facilities equivalent to those of the existing EC, which can be managed and maintained properly.

- 2) Standard facilities based on the curriculum of teacher training.
- 3) Other necessary facilities based on the policy concept for the future teacher education reform.

The Myanmar side requested Japanese side to cover the 1,000 trainees' capacity in academic and administration facilities and hostels of Taungoo EC as a model EC based on the 20 Year Long Term Basic Education Development Plan which was approved by Union Minister for Education and submitted to Ministry of National Planning and Economic Development. Although the Team basically understood the importance of this policy, the both sides agreed that capacity of the academic and administration facility and hostels will be decided based on the overall result of this survey taking into consideration of priority of facility and within the budget constraints of the Government of Japan. Both sides agreed that Japanese side will propose a master plan on facilities of Taungoo EC with 1,000 trainees' capacity so that Myanmar side will construct the rest of facility which will not be covered by Japanese side.

The priority of equipment will be based on the facility and its priority order described in ANNEX 3. Equipment which functions well in current Toungoo EC will not be provided by Japanese side.

(2) For target site with the provision of equipment

Myanmar side explained that they place a high priority on the construction and provision of equipment for Taungoo EC over the provision of equipment for other ECs. Therefore, both sides agreed that the equipment for other ECs will not be included in the Project.

7. Social and Environmental Considerations

The Team explained JICA socio-environmental guidelines and necessary procedures and requested the Myanmar side to provide the detailed data on the new candidate site for Toungoo EC. The Team also requested the Myanmar side to provide information with regard to the environmental regulations such as EIA (Environmental Impact Assessment) and compensation mechanism for those who will be impacted, which will be applied to the land acquisition for the Project. The Myanmar side understood that the Myanmar Government must carefully consider social and environmental impacts by the Project and must comply with both of the environmental regulations of the Myanmar and JICA socio-environmental guidelines.

The Team also explained that the information and reports on social and environmental consideration for the Project will be made public, to which the Myanmar side agreed.

Both sides confirmed that there is possibility that the overall survey schedule may be

reviewed and delayed, in order to ensure the necessary procedures for social and environmental consideration.

8. Measures to be Taken by Myanmar Side for Securing the Land

The Myanmar side has agreed to provide evidence of land ownership or proper land use right of Taungoo EC site authorized by the Myanmar Government to the Japanese side by the time of next survey planned in April, 2013. The Team requested the Myanmar side to provide information on procedure and schedule for transferring land ownership or proper land use right, which comply with the environmental regulations of Myanmar and JICA, by the end of December, 2012.

The Team explained the following conditions that are to be met when the land ownership is transferred from private person or entity, to which the Myanmar side understood.

- (1) The infrastructure must not be site specific.
- (2) The impacts must be minor, that is, involve no more than 10 percent of the area of any holding and require no physical relocation.
- (3) The land required to meet technical project criteria must be identified by the affected community, not by line agencies or project authorities (nonetheless, technical authorities can help ensure that the land is appropriate for project purposes and that the project will produce no health or environmental safety hazards).
- (4) The land in question must be free of squatters, encroachers, or other claims or encumbrances.
- (5) Verification (for example, notarized or witnessed statements) of the voluntary nature of land donations must be obtained from each person donating land.
- (6) If any loss of income or physical displacement is envisaged, verification of voluntary acceptance of community-devised mitigatory measures must be obtained from those expected to be adversely affected.
- (7) If community services are to be provided under the project, land title must be vested in the community, or appropriate guarantees of public access to services must be given by the private titleholder.
- (8) Grievance mechanisms must be available.

9. Japan's Grant Aid Scheme

9-1. The Myanmar side understood the Japan's Grant Aid Scheme described in ANNEX4-1 and 4-2, which were explained by the Team.

9-2. The Myanmar side assured to take the necessary measures, as described in ANNEX 5, for smooth implementation of the Project.

10. Schedule of the Study

10-1. The Team members from consultants will continue further studies in Myanmar until

December 21, 2012. The Team will prepare a draft report of this survey, which includes the outline designs of the target EC, based on the technical survey by the consultants. The draft report will be presented to Myanmar side in April, 2013.

10-2. After the contents of the report are accepted in principle by the Government of Myanmar, JICA will recommend to the Government of Japan the final approval of the Project.

10-3. The above mentioned schedule is subject to be reviewed and changed.

11. Other Relevant Issues

11-1. With regard to the implementation of the Project, the Myanmar side has committed to take appropriate measures to exempt custom duties, value-added tax, and other fiscal levies which may be imposed in Myanmar

11-2. Myanmar side has committed to take all necessary measures to assure security and issue travel permit of Japanese nationals engaging in the Project.

11-3. The Myanmar side has agreed to provide the education statistics necessary for the estimation of the expected student enrollment of Taungoo EC and nationwide.

11-4. Myanmar side will coordinate with concerned organizations to be able to secure the budget for additional teacher allocation and maintenance cost necessary for Taungoo EC.

END

ANNEX 1: Organization Chart of the Department of Educational Planning and Training, Ministry of Education, Myanmar

ANNEX 2: Conditions and Criteria for selecting target EC for improving its infrastructure and equipment

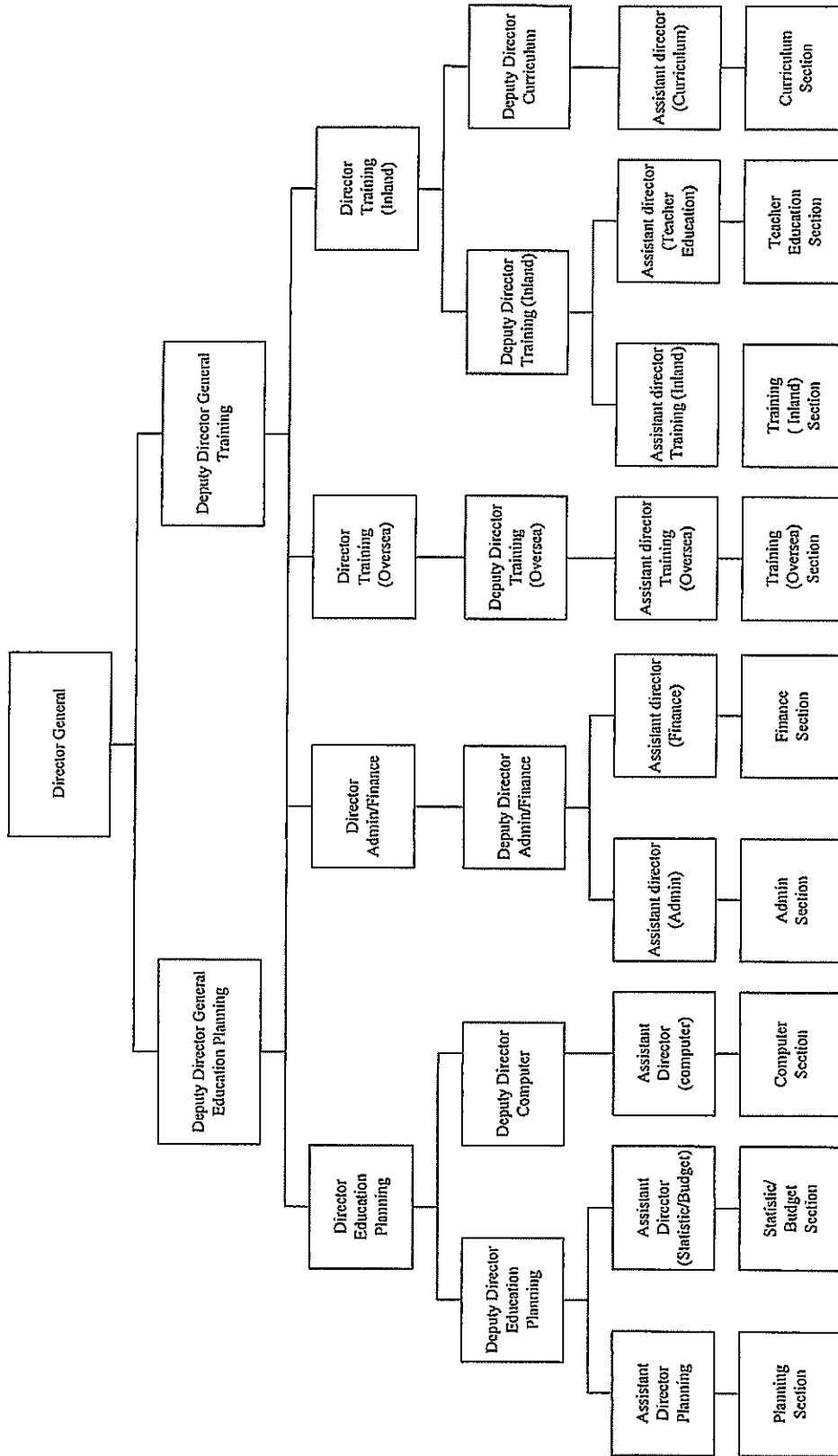
ANNEX 3: Proposed components

ANNEX 4-1: Japan's Grant Aid

ANNEX 4-2: Flow Chart of Japan's Grant Aid Procedures

ANNEX 5: Major Undertakings by each Government

ANNEX 1: Organization Chart of Department of Education Planning and Training



[Handwritten mark]

[Handwritten mark]

ANNEX 2: Conditions and Criteria for Selecting Target EC for improving the infrastructure and equipment

<Required Conditions>

- Land ownership or proper land use right for college facility construction is legally secured with written evidence with its clear boundary, and the documentation of legal land ownership by the Government is to be submitted to the Team.
- No other plan exists for current/ongoing facility improvement by the Myanmar Government, other donors, NGOs, etc.
- Topographically/environmentally safe and appropriately sized land for construction is secured.
- Access approaches for construction vehicles are properly provided.
- There is no security concern such as conflict/dispute between villages, communities, etc. around the site.
- Extensive site preparation works such as site leveling, reclamation, removal of obstacles from the site will not be required for the construction of the Project facilities.

<Criteria for Prioritization>

- Urgency of facility rehabilitation (Study environment, Insufficient and decrepit/undamaged facility)
- Consistency with development plan by the Myanmar side
- Eligibility as a new model college (Executing whole teacher training courses, accessibility from whole country, etc.)
- Site conditions for facility construction (Securing land for facility construction, impact to surrounding and environment, and security)
- Core Education College in Region/State and/or significance of supporting national races in border area
- Infrastructure (Existing infrastructure condition, feasibility of new infrastructure development)
- Less natural disaster experience (Flood, Cyclone, Earth Quake, Arsenic Pollution, etc.)
- Experience of LCA (Learner-Centered Approach) and CCA (Child-Centered Approach) training.
- School management and operation budgets are to be properly secured and to be allocated on schedule.

- Present and future demand can be quantitatively estimated by a set of data.

Q4

10

ANNEX 3: Proposed Components

<Facilities>

Component	Priority	Remarks
Class Rooms	A	
Co-curriculum Class Room combined with Academic Office	A	
Laboratory	A	
Computer Application Room, LL Room, Audio Visual room (including Internet access for teachers as well as trainees)	A	
Administration Office	A	
Academic Department Office	A	
Library	A	
Assembly Hall and Gymnasium	A	
Dining Hall with Kitchen	A	
Hostel (for female and male)	B	Full capacity of hostel will not be covered by Japanese side.
Staff Houses for Teaching staff and Others	C	
Practicing School for Pre-School, Primary and Middle School	B	
Agriculture Practicing Field	D	Agriculture Practicing Field will not be covered by Japanese side.
Physical Play Ground	D	Physical Play Ground will not be covered by Japanese side.
Others	C	

* "A" are high-priority components.

<Equipment>

The following list is in priority order:

- Classroom Furniture (Black/Green Board, Desk, Chair and others)
- Subject Equipment and Furniture
- Laboratory Equipment and Furniture

Op

100/

- Computer Application Room, LL, and Audio visual Equipment and Furniture(including Internet facilities and network accessories)
- Physical Education, Music, Painting and Pre-vocational Equipment
- Presentation Tool (OHR Computer, Projector, EVD, Visual Presenter, Television and others)
- Teaching Material Preparation (Printing Equipment)
- Assembly Hall Equipment (Audio Visual)and Furniture
- Gymnasium Sport Equipment and Furniture
- Library Equipment and Furniture
- Office Equipment and Furniture
- Hostel Equipment and Furniture
- Dining and Cooking Equipment and Furniture
- Others

Q

100

JAPAN'S GRANT AID

The Government of Japan (hereinafter referred to as "the GOJ") is implementing the organizational reforms to improve the quality of ODA operations, and as a part of this realignment, a new JICA law was entered into effect on October 1, 2008. Based on this law and the decision of the GOJ, JICA has become the executing agency of the Grant Aid for General Projects, for Fisheries and for Cultural Cooperation, etc.

The Grant Aid is non-reimbursable fund provided to a recipient country to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for its economic and social development in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. The Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

1. Grant Aid Procedures

The Japanese Grant Aid is supplied through following procedures :

- Preparatory Survey
 - The Survey conducted by JICA
- Appraisal & Approval
 - Appraisal by the GOJ and JICA, and Approval by the Japanese Cabinet
- Authority for Determining Implementation
 - The Notes exchanged between the GOJ and a recipient country
- Grant Agreement (hereinafter referred to as "the G/A")
 - Agreement concluded between JICA and a recipient country
- Implementation
 - Implementation of the Project on the basis of the G/A

2. Preparatory Survey

(1) Contents of the Survey

The aim of the preparatory Survey is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project made by the GOJ and JICA. The contents of the Survey are as follows:

- Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of relevant agencies of the recipient country necessary for the implementation of the Project.
- Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from a technical, financial, social and economic point of view.
- Confirmation of items agreed between both parties concerning the basic concept of the Project.

- Preparation of a outline design of the Project.
- Estimation of costs of the Project.

The contents of the original request by the recipient country are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Outline Design of the Project is confirmed based on the guidelines of the Japan's Grant Aid scheme.

JICA requests the Government of the recipient country to take whatever measures necessary to achieve its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the organization of the recipient country which actually implements the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country based on the Minutes of Discussions.

(2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Survey, JICA employs (a) registered consulting firm(s). JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms.

(3) Result of the Survey

JICA reviews the Report on the results of the Survey and recommends the GOJ to appraise the implementation of the Project after confirming the appropriateness of the Project.

3. Japan's Grant Aid Scheme

(1) The E/N and the G/A

After the Project is approved by the Cabinet of Japan, the Exchange of Notes(hereinafter referred to as "the E/N") will be signed between the GOJ and the Government of the recipient country to make a pledge for assistance, which is followed by the conclusion of the G/A between JICA and the Government of the recipient country to define the necessary articles to implement the Project, such as payment conditions, responsibilities of the Government of the recipient country, and procurement conditions.

(2) Selection of Consultants

In order to maintain technical consistency, the consulting firm(s) which conducted the Survey will be recommended by JICA to the recipient country to continue to work on the Project's implementation after the E/N and G/A.

(3) Eligible source country

Under the Japanese Grant Aid, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased. When JICA and the Government of the recipient country or its designated authority

Os

100
/

deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country. However, the prime contractors, namely, constructing and procurement firms, and the prime consulting firm are limited to "Japanese nationals".

(4) Necessity of "Verification"

The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by JICA. This "Verification" is deemed necessary to fulfill accountability to Japanese taxpayers.

(5) Major undertakings to be taken by the Government of the Recipient Country

In the implementation of the Grant Aid Project, the recipient country is required to undertake such necessary measures as Annex.

(6) "Proper Use"

The Government of the recipient country is required to maintain and use properly and effectively the facilities constructed and the equipment purchased under the Grant Aid, to assign staff necessary for this operation and maintenance and to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

(7) "Export and Re-export"

The products purchased under the Grant Aid should not be exported or re-exported from the recipient country.

(8) Banking Arrangements (B/A)

a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account under the name of the Government of the recipient country in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). JICA will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the Verified Contracts.

b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to JICA under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Government of the recipient country or its designated authority.

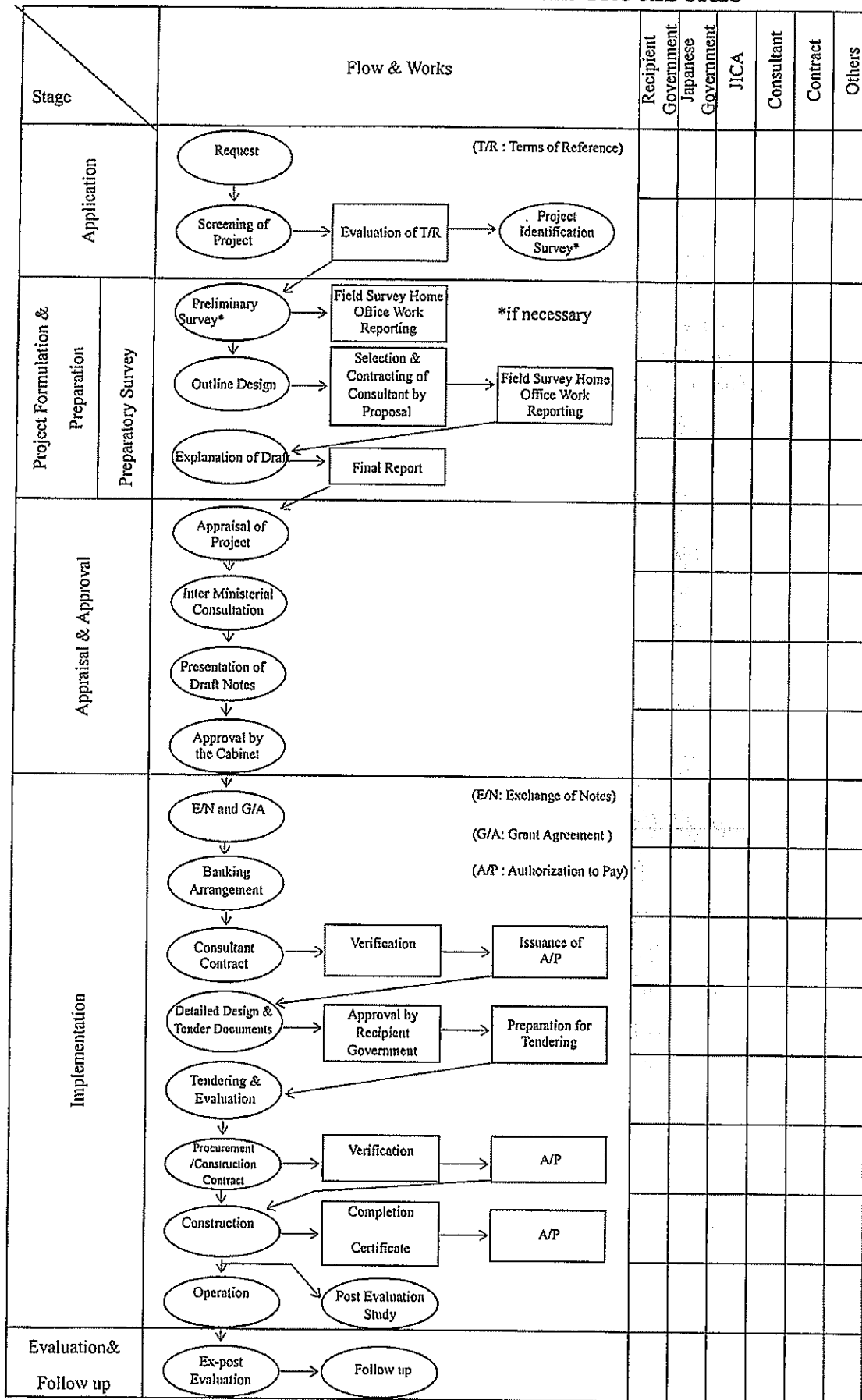
(9) Authorization to Pay (A/P)

The Government of the recipient country should bear an advising commission of an Authorization to Pay and payment commissions paid to the Bank.

(10) Social and Environmental Considerations

A recipient country must carefully consider social and environmental impacts by the Project and must comply with the environmental regulations of the recipient country and JICA socio-environmental guidelines.

FLOW CHART OF JAPAN'S GRANT AID PROCEDURES



Sp

Lee

Major Undertakings to be taken by Each Government

No.	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient Side
1	to secure lots of land necessary for the implementation of the Project and to clear the sites;		●
2	To construct the following facilities		
	1) The building	●	
	2) The gates and fences in and around the site		●
	3) The parking lot	●	
	4) The road within the site	●	
	5) The road outside the site		●
3	To provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities necessary for the implementation of the Project outside the sites		
	1) Electricity		
	a. The distributing power line to the site		●
	b. The drop wiring and internal wiring within the site	●	
	c. The main circuit breaker and transformer	●	
	2) Water Supply		
	a. The city water distribution main to the site		●
	b. The supply system within the site (receiving and elevated tanks)	●	
	3) Drainage		
	a. The city drainage main (for storm sewer and others to the site)		●
	b. The drainage system (for toilet sewer, common waste, storm drainage and others) within the site	●	
	4) Gas Supply		
	a. The city gas main to the site		●
	b. The gas supply system within the site	●	
	5) Telephone System		
	a. The telephone trunk line to the main distribution frame/panel (MDF) of the building		●
	b. The MDF and the extension after the frame/panel	●	
	6) Furniture and Equipment		
	a. General furniture		●
	b. Project equipment	●	
4	To ensure prompt unloading and customs clearance of the products at ports of disembarkation in the recipient country and to assist internal transportation of the products		
	1) Marine (Air) transportation of the Products from Japan to the recipient country	●	
	2) Tax exemption and custom clearance of the Products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	●	
5	To ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the purchase of the products and the services be exempted		●
6	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		●
7	To ensure that the Facilities and the products be maintained and used properly and effectively for the implementation of the Project		●
8	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for the implementation of the Project		●
9	To bear the following commissions paid to the Japanese bank for banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●

(B/A : Banking Arrangement, A/P : Authorization to pay)

Q

100

(2) 概要説明調査

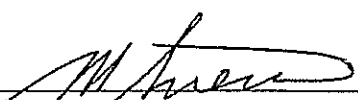
**MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
PREPARATORY SURVEY ON
THE PROJECT FOR
REHABILITATION OF EDUCATION COLLEGES
IN
THE REPUBLIC OF UNION OF MYANMAR**

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had conducted the field survey as a part of the Preparatory Survey on the Project for Rehabilitation of Education Colleges in the Republic of Union of Myanmar (hereinafter referred to as "the Project") from October 2012 to September 2013. Based on the results of the field survey and subsequent technical examinations conducted in Japan, JICA prepared the Draft Preparatory Survey Report.

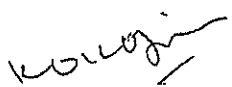
In order to explain the contents of the report and discuss with the officials concerned of the Government of Myanmar (hereinafter referred to as "the Myanmar side"), JICA sent the Survey Team (hereinafter referred to as "the Team"), which was headed by Mr. Mitsuru Suemori, Senior Advisor of JICA and stayed in the country from 22 to 26 December, 2013.

As a result of discussions, both sides have confirmed the main items described in the attached sheet.

Nay Pyi Taw, December 26, 2013



Mr. Mitsuru Suemori
Leader
Preparatory Survey Team
Japan International Cooperation Agency



Mr. Ko Ko Tin
Director General,
Department of Educational Planning and
Training,
Ministry of Education,
The Republic of Union of Myanmar

ATTACHMENT

1. Official Request for the Project

Both sides confirmed that the Myanmar side should submit “the Application Form for Grant Aid from Japan”, which is a necessary document for approval for the Project by the Government of Japan, to the Embassy of Japan by the end of January 2014.

2. Contents of the Draft Report

The Myanmar side agreed and accepted in principle the contents of the draft report as explained by the Team.

3. Teacher Education Plan for the Project

The Myanmar side explained the Team that the Project should be designed based on the Master Plan of New Taungoo Education College and Teacher Education Plan as the page 01 and 02 in ANNEX.

4. Components to be Covered by the Project

Both sides confirmed that full-scale operation of the new Taungoo Education College should be commenced just after completion of the Project. Based on the above, both sides agreed on components to be covered by the Project and by the Myanmar side as the page 03, 04, and 08 of ANNEX.

5. Major Undertakings to be taken by the Myanmar side

Both sides agreed that the major undertakings to be taken by each government for the Project as the page 09 of ANNEX.

The Myanmar side assured to take a full responsibility for the items as the page 10 of ANNEX in accordance with the schedule as the page 12 of ANNEX, and agreed to allocate necessary budget for the Project as the page 11 of ANNEX.

6. Operation and Maintenance

Both sides agreed on items and tentative annual cost for operation and maintenance for the facility and equipment after completion of the Project as the page 13 and 14 of ANNEX.

The Team explained that transportation for EC lecturers/tutors, staff and teachers/students for practicing school is necessary as shown in the page 13 of ANNEX, and the Myanmar side agreed to consider the necessary measures to cover.

7. Project Cost Estimation

The Myanmar side understood that the Project cost estimation as the page 11 of ANNEX was not final at this stage and would be set and approved by the Government of Japan after thorough examinations.

8. Environmental and social considerations

The Myanmar side assured that instead of the Environmental Management Plan and other

necessary documents, which will be required by the new rules and procedures, an environmental and social considerations report for the Project to be prepared by the Team could be accepted and evaluated by the Ministry of Environmental Conservation and Forest.

9. Confidentiality of the Information Related to the Project

Both sides confirmed that all the information related to the Project including design documents of facilities and equipment shall not be released to any outside parties before concluding all contracts for the Project.

Furthermore, both sides agreed that the Project cost estimation as the page 11 of ANNEX shall never be duplicated or released to any outside parties before concluding all contracts for the Project.

10. Final Report of the Preparatory Survey

JICA will submit the final report of the Preparatory Survey to the Government of Myanmar by the end of June, 2014.

11. Other relevant issues

11-1. Building permission

The Myanmar side assured that the Ministry of Education should facilitate all the process for obtaining the building permission for the facilities of the Project within two months after application.

11-2. New Project in Basic Education Sector

The Myanmar side explained the Team that Ministry of Education would facilitate the approval process for the Project for Curriculum Reform at Primary Level in Basic Education within the Government of Myanmar by the mid of February 2014.

END

ANNEX SUMMARY OF PREPARATORY SURVEY REPORT



(DRAFT)
SUMMARY OF
PREPARATORY SURVEY REPORT
ON
THE PROJECT FOR REHABILITATION OF EDUCATION COLLEGE
IN THE REPUBLIC OF THE UNION OF MYANMAR

December, 2013

Japan International Cooperation Agency (JICA)

Consortium of
Yamashita Sekkei Inc.
KRI International Corporation
Binko International Ltd.

01 Outline of the Master Plan of New Taungoo Education College

Item	Outline
1) Teacher Education Courses	<ul style="list-style-type: none"> • DTEd (for 1 to 2 Years) and DTEC (for 1 Year) • Two Semesters (16 weeks/semester), the rest for bloc teaching
2) Capacity	<ul style="list-style-type: none"> • Boarding college • 1,000 trainees (700 females and 300 males) • 50 trainees per class • Practicing school: pre-school (1 class) , Grades 1 to 9 (2 classes each). 40 students per class
3) Main Research Functions	<ul style="list-style-type: none"> • Joint research with Yankin EC on revision of the curriculum • Studies on teaching methods and teaching materials using multimedia
4) Facilities and Equipment	<p>Facilities:</p> <ul style="list-style-type: none"> • A model for the Campus master plan, durability, safety and fire prevention • A model for facility maintenance: energy saving, water treatment etc. • Improvement in the living environment in the hostels <p>Teaching Equipment and Furniture:</p> <ul style="list-style-type: none"> • A model for teaching equipment and furniture plan • A model for maintenance of teaching equipment
5) Management Methods	<ul style="list-style-type: none"> • Use of the facilities for self-study after school • Same number of staff members and organizational structure • Add lecturers/tutors for male physical education, industrial art, maintenance staff etc.

02 Teacher Education Plan

3

(1) Course Capacity Plan

MOE plans to allocate 1,000 trainees continuously from Bago Region and Kayah State

Schedule	Number of trainees	Annual Graduated	Hostel Capacity	Ratio (Male : Female)
Current Schedule	DTEd-1 (132), DTEd-2 (166), DTEC (97) total 395 trainees	263	350	0:10
Project Schedule	DTEd-1 (500), DTEd-2 (500), DTEC (500) total 1,500 trainees	1,000	1,000	3:7

(2) Education Schedule

The Project is planned based on the following schedule.

Project Schedule

	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
1 DTEd							1st Semester (16w)						
2 DTEd							2nd Semester (16w)						
3 DTEC													

Stay at Hostel in EC

03 Major Components to be covered by the Project

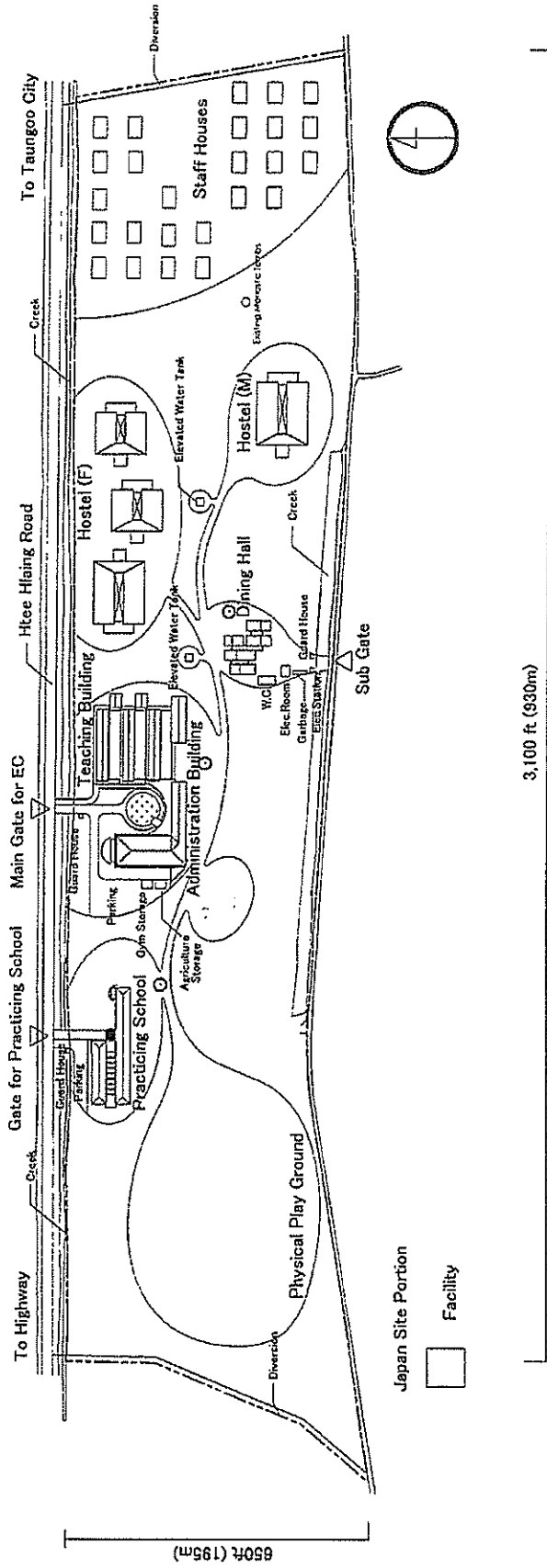
Major Components	Priority	Coverage
Class Rooms	A	Covered by Japanese Grant Aid
Co-curriculum Class Room combined with Academic Office	A	
Laboratory	A	
Computer Application Room, LL Room, Audio Visual Room (Including Internet Access for Teachers as well as trainees)	A	
Assembly Hall and Gymnasium	A	
Administration Office	A	
Academic Department Office	A	
Library	A	
Dining Hall with Kitchen	A	
Hostel (for female and male)	B	
Practicing School for Pre-school, Primary and Middle school	B	
Staff Houses for Teaching staff and Others	C	
Agriculture Practicing Field	D	
Physical Play Ground	D	

04 Components of Facility Construction

	Facility	Floor Area
Japanese Side	<ul style="list-style-type: none"> •Administration Building (including a assembly hall) •Teaching Building •Hostels (1,000 trainees capacity in 4 hostels) •Dining Hall with Kitchen •Ancillary Facilities (gym storage, electric room etc) 	2,457 m ² 4,257 m ² 10,260 m ² 675 m ² 300m ²
	Total	17,949m ²
Myanmar Side	<ul style="list-style-type: none"> •Practicing School (760 students) •Staff Houses (13 households) •Agriculture Practicing Field •Physical Play Ground •Others (garage etc.) 	2,671m ² 1,338m ²

05 Site Plan

(B)



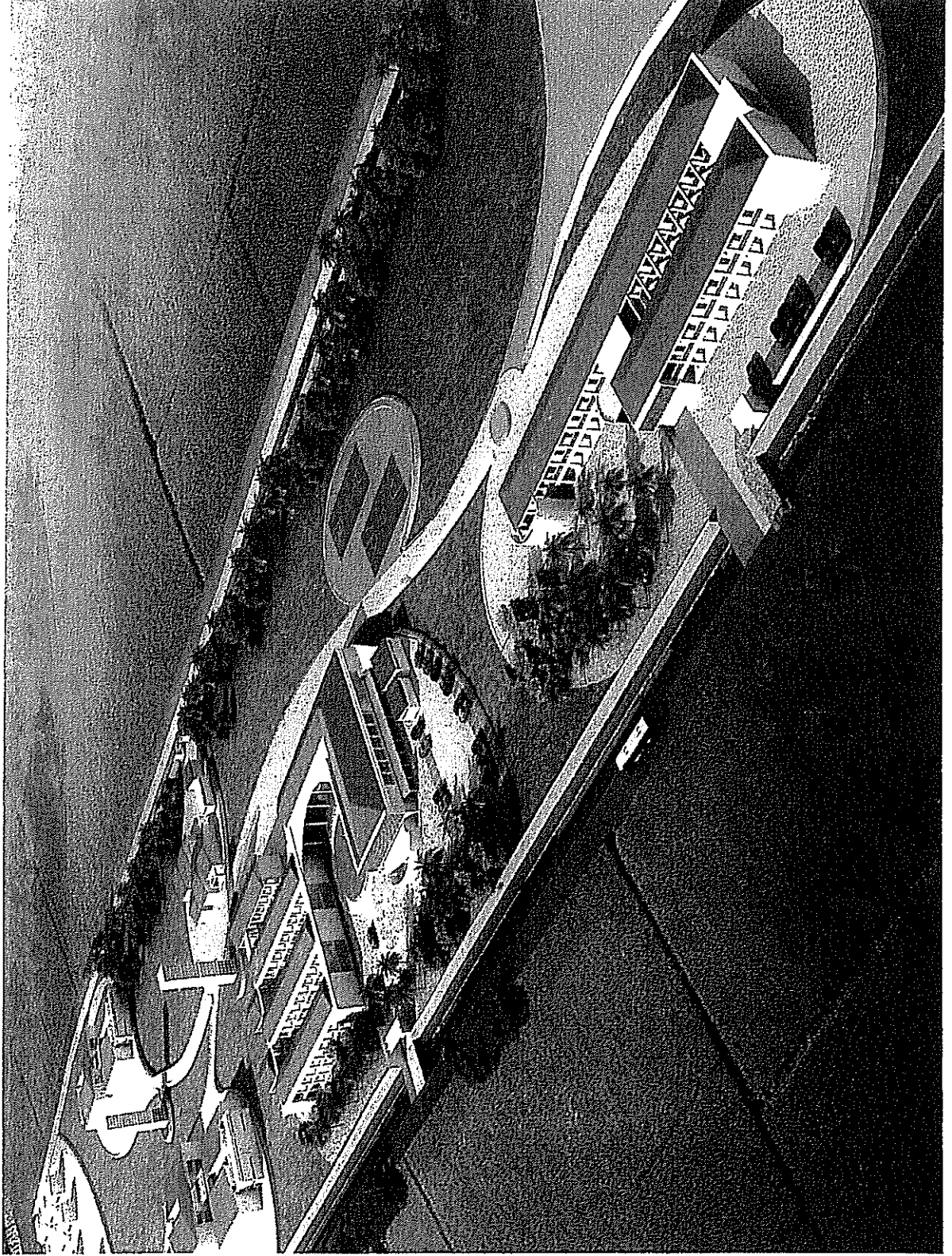
Project Site 41.19acre (167,000sqft)

06 Bird Eye Perspective1

③



07 Bird Eye Perspective 2



(10)

08 Outline of Facility Programming

3

Building Name	Room Name	Furniture	Equipment
Administration Building	Principal, Department Head Rooms, Department Rooms, Administration Office, Print Room, Library, Care Room etc.	Desk, Chair, Shelf, Reading Table etc.	Computer, Printer, Printing Machine, etc
Teaching Building	Class Rooms (20), Laboratory (4), Industrial Art, Domestic science, Art, Music, LL, Computer, Audio Visual Rooms etc.	Desk, Chair, Black Board, Lab. Table, LL Booth etc.	Lab., Co-curricular, Audio visual, LL, computer etc.
Hostels	Bed Rooms (4 trainee/room x 250), Study Rooms etc	Bed, Cabinet etc.	—
Dining Hall with Kitchen	Dining (male 150 seats, female 350 seats) 2 shift, Kitchen, staff (20 seats)	Table, Chair, Cooking Table etc.	—
Ancillary Facilities	Pump Room, Electric Room, Gym, Agricultural storages, Guard house etc.	—	—

09 Major Undertakings to be taken by Each Government

No.	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient Side
1	to secure lots of land necessary for the implementation of the Project and to clear the sites;		●
2	To construct the following facilities 1) The building 2) The gates and fences in and around the site 3) The parking lot 4) The road within the site 5) The road outside the site	● ● ●	● ●
3	To provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities necessary for the implementation of the Project outside the sites 1) Electricity a. The distributing power line to the site b. The drop wiring and internal wiring within the site c. The main circuit breaker and transformer 2) Water Supply a. The city water distribution main to the site b. The supply system within the site (receiving and elevated tanks) 3) Drainage a. The city drainage main (for storm sewer and others to the site) b. The drainage system (for toilet sewer, common waste, storm drainage and others) within the site 4) Gas Supply a. The city gas main to the site b. The gas supply system within the site 5) Telephone System a. The telephone trunk line to the main distribution frame/panel (MDF) of the building b. The MDF and the extension after the frame/panel 6) Furniture and Equipment a. General furniture b. Project equipment	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	● ●
4	To ensure prompt unloading and customs clearance of the products at ports of disembarkation in the recipient country and to assist internal transportation of the products 1) Marine (Air) transportation of the Products from Japan to the recipient country 2) Tax exemption and custom clearance of the Products at the port of disembarkation 3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	● ●	● ●
5	To ensure that customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the purchase of the products and the services be exempted		●
6	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		●
7	To ensure that the Facilities and the products be maintained and used properly and effectively for the implementation of the Project		●
8	To bear all the expenses, other than those covered by the Grant, necessary for the implementation of the Project		●
9	To bear the following commissions paid to the Japanese bank for banking services based upon the B/A 1) Advising commission of A/P 2) Payment commission		● ●

(B/A : Banking Arrangement, A/P : Authorization to pay)

10 Major Undertakings by the Myanmar Side

1. Related to Construction <ul style="list-style-type: none">• To secure the Project site• To bank soil at buildings sites and its surroundings and three access roads, and back filling of irrigation channel• To set up two diversions at east and west end of the Project site• To lead electric power line to the Project site from Taungoo University (1.4 km)• To construct fence enclosing the Project site• To construct other facilities with equipments and furniture, which are not constructed by the Grant Aid from the GOJ
2. Related to Maintenance and Operation <ul style="list-style-type: none">• Procurement and installation of general furniture, equipment and fittings, etc. not borne by Japan's Grant Aid• Procurement of consumables and spare parts necessary for the proper maintenance and operation• Appropriate and effective operation of the completed facilities and equipment
3. Related to Procedures <ul style="list-style-type: none">• Costs related to Banking Arrangement (B/A), Authorization to Pay (A/P) and Payment Charge• To obtain a building permission inspected by MOE and MOC• Obtaining relevant permissions, licenses and other authorizations as may be necessary for the Project• Prompt unloading, customs clearance and tax exemption of the products for the Project• Exemption of Japanese nationals from custom duties, internal taxes and fiscal levies• According Japanese nationals for their entry into Myanmar and stay therein• Bearing all expenses other than those borne by Japan's Grant Aid, necessary for the Project

④

11 Project Cost Estimation

(1) Cost to be borne by the Japanese side

This item is closed due to the confidentiality.

(2) Cost to be borne by the Myanmar side

Items borne by the Myanmar side (Related to Construction)	Estimated Cost (Kyat)
1) Land acquisition compensation (budget request for re-fund)	82,380,000
2) Banking soil at building sites, its surroundings and three access roads, back filling of irrigation channel, and set up two diversions	362,285,000
3) Leading electric power line to the Project site (1.4 km extension)	30,870,000
4) Construct of fence enclosing the Project site	143,910,000
5) Construction of other facilities with equipments and furniture, which are not constructed by the Grant Aid from the GOJ	1,205,960,000
6) Commissions (AVP, B/A and Payment) and others (including relocation)	37,000,000
Total	1,862,405,000

1) to 5) estimated by DEPT in August 2013

(3) Conditions of Estimation

1) Time of Estimation	July 2013
2) Exchange rate	1USD = 99.77JPY
3) Implementation period	As per Tentative Mater Schedule
4) Others :	The rules of Japan's Grant Aid Scheme were applied in estimating the cost

12 Tentative Master Schedule

	2014												2015								2016								
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
E/N	Cabinet approval												Budgetary Period 24 months																
G/A	G/A																												
Consultant Agreement	▲																												
Detail Design, Tender and Contract	▲												Construction Contract																
Construction	Rainy Season												Construction Period 15 months								Completion								
Equipment Procurement																													
Works Done by MOE																													
Building Permit	Payment																				▲ EC Open								
1) Land acquisition compensation	▲												Budget Allocation																
2) Banking soil at building sites, its surroundings																													
Banking soil at three access roads																													
Back fill of irrigation channel																													
Set up two diversions																													
Leading electric power line to the Project site																													
Construction of fence enclosing the Project site																													
Construction of practicing school, staff houses, etc																													
Commissions (A/P, payment) and others (including relocation)																													

E/N: exchange of Notes G/A: Grant Agreement

2

100

13 Operation and Maintenance after the Completion of the Project

13

(1) Transportation

For EC Lecturers/Tutors before staff houses completion
For EC staff who live in Taungoo town
For practicing school staff who live in Taungoo town
For practicing school students who live in Taungoo town

(2) Operation and Maintenance Organization

At Present (133)	<ul style="list-style-type: none"> • EC: 113 staff (executives 5, lecture/tutor 66, admin. officer 42) • Practicing School: 20 staff (headmaster 1, teachers 16, admin. officer 3)
Additional Personnel	<ul style="list-style-type: none"> • Physical education lecture/tutor (3), industrial art lecture/tutor (2) • Practicing school teacher (3) • Necessary number of Maintenance staff (Water, Mechanical, Electrical, Building, etc), kitchen staff

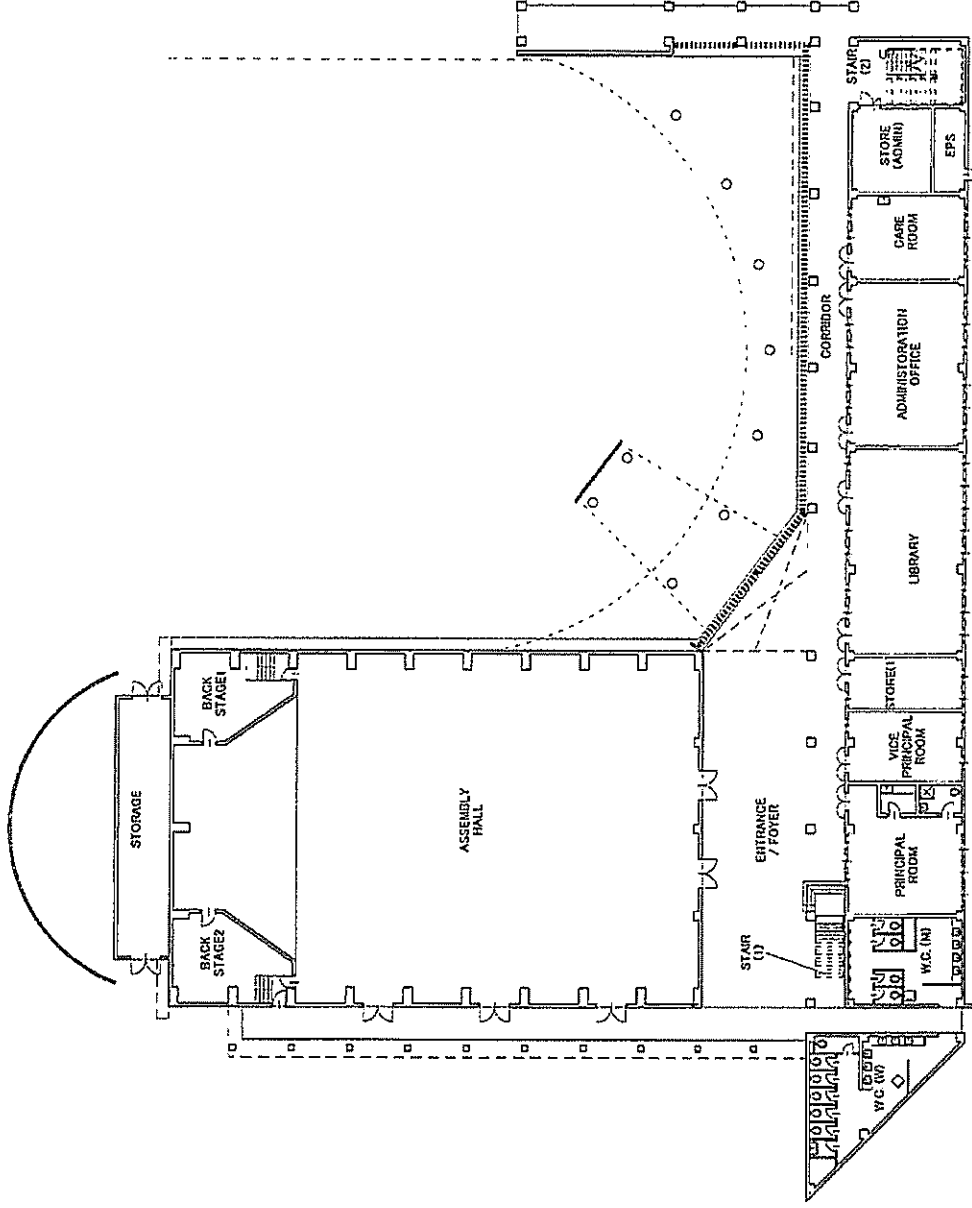
14 Annual Cost for Operation and Maintenance after the Completion of the Project

(3)

(3) Operation and Maintenance Cost

Item	Estimated by Consultant Team	
	After completion of the Project Expenses (Kyat)	2012-2013 (Reference) Expenses (Kyat)
(1) Personnel and travel expenses (including practicing school)	181,094,000	151,070,677
1) Personnel expenses	179,422,000	149,675,827
2) Travel expenses	1,672,000	1,394,850
(2) Operation and maintenance expenses	76,073,000	40,352,620
3) Goods and services	43,706,000	34,786,620
4) Maintenance Charge (machinery, building and vehicle)	23,979,000	5,326,000
5) Waste Disposal Cost (domestic solid waste and sludge.)	1,440,000	-
6) Transportation	Necessary Expense (+ α)	
7) Others (10% of 3) to 5))	6,912,000	240,000
Total	257,131,000 + α	191,423,297

15 Facilities Plan (Administration Building GFL)



Administration Building GFL Plan

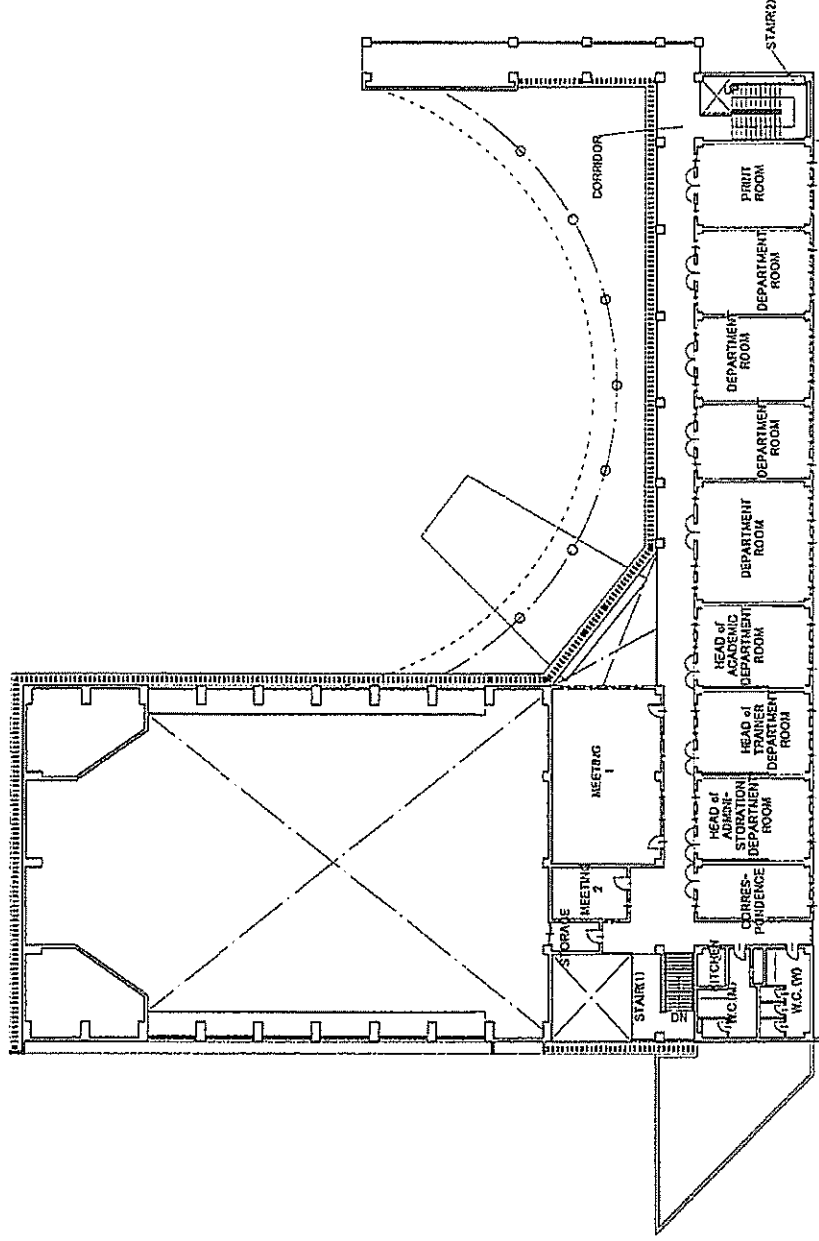
the Project for Rehabilitation of Education College in the Republic of the Union of Myanmar

၆

၆/

16 Facilities Plan (Administration Building 1FL)

13

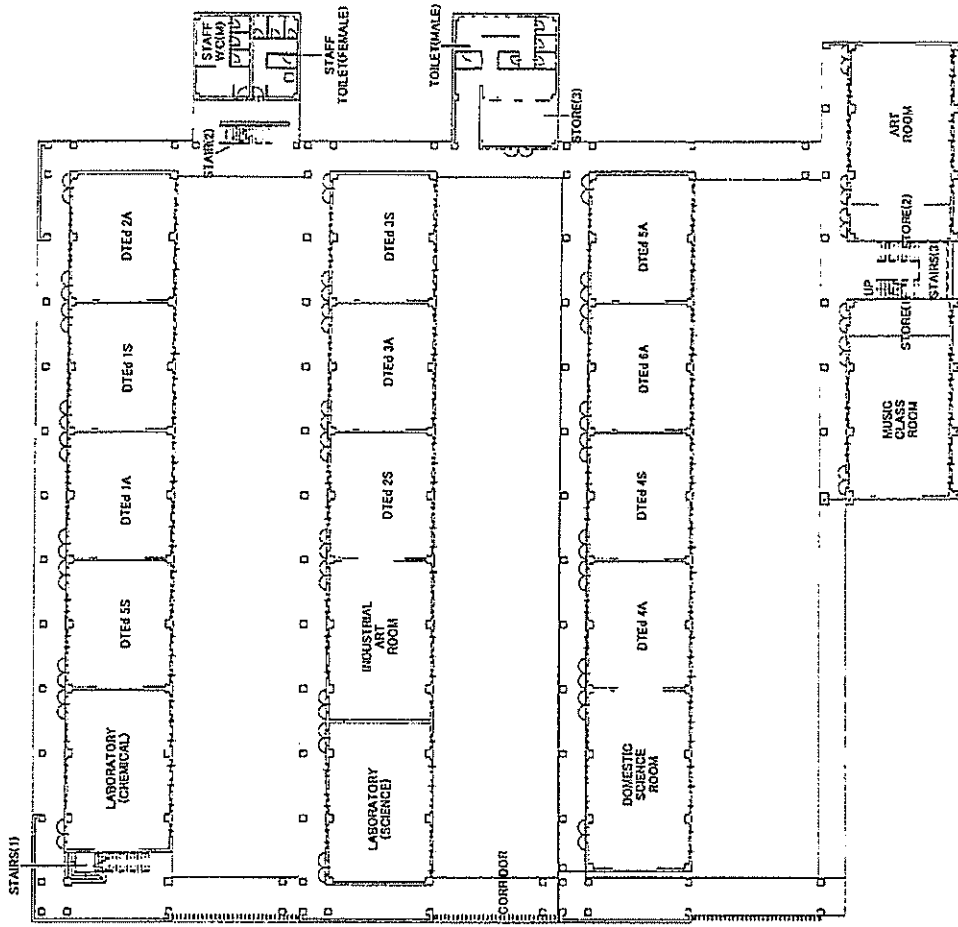


Administration Building 1FL Plan

the Project for Rehabilitation of Education College in the Republic of the Union of Myanmar

14

17 Facilities Plan (Teaching Building GFL)

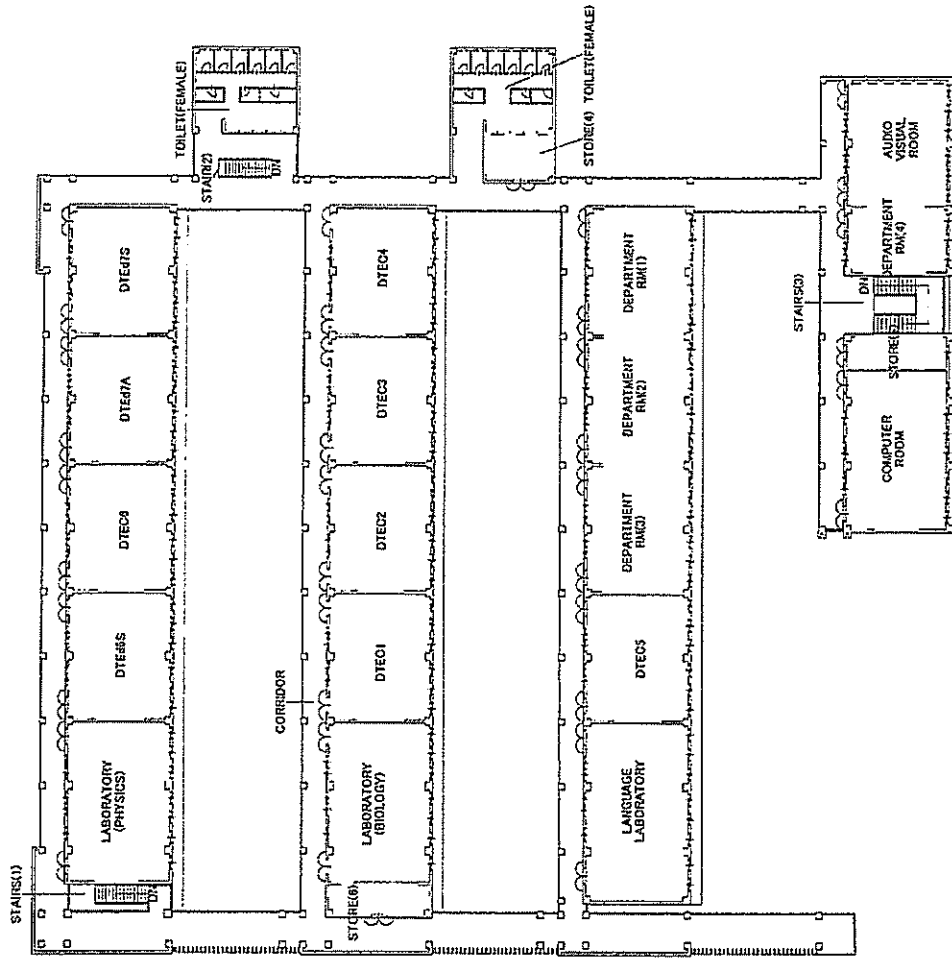


Teaching Building GFL Plan

the Project for Rehabilitation of Education College in the Republic of Myanmar

[Handwritten signature]

18 Facilities Plan (Teaching Building 1FL)



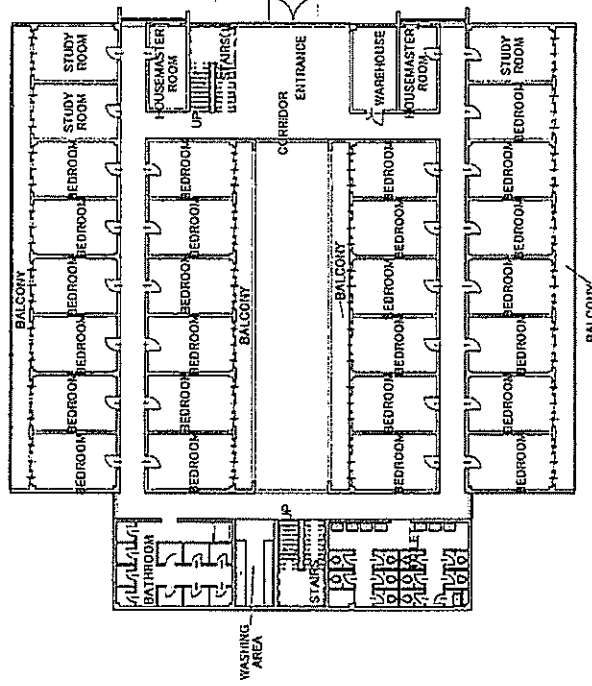
Teaching Building 1FL Plan

the Project for Rehabilitation of Education College in the Republic of the Union of Myanmar

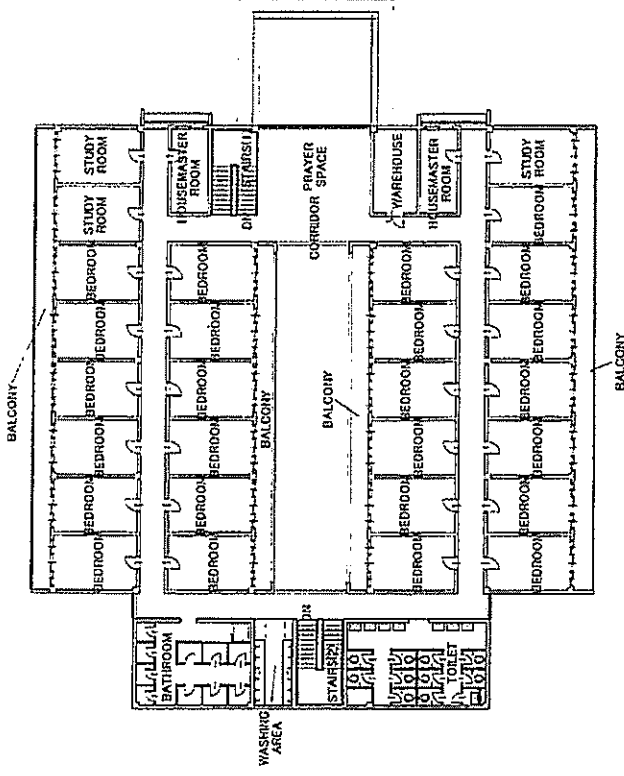
Handwritten mark or signature.

Handwritten mark or signature.

19 Facilities Plan (Hostel GFL & 1FL)



Hostel GFL Plan



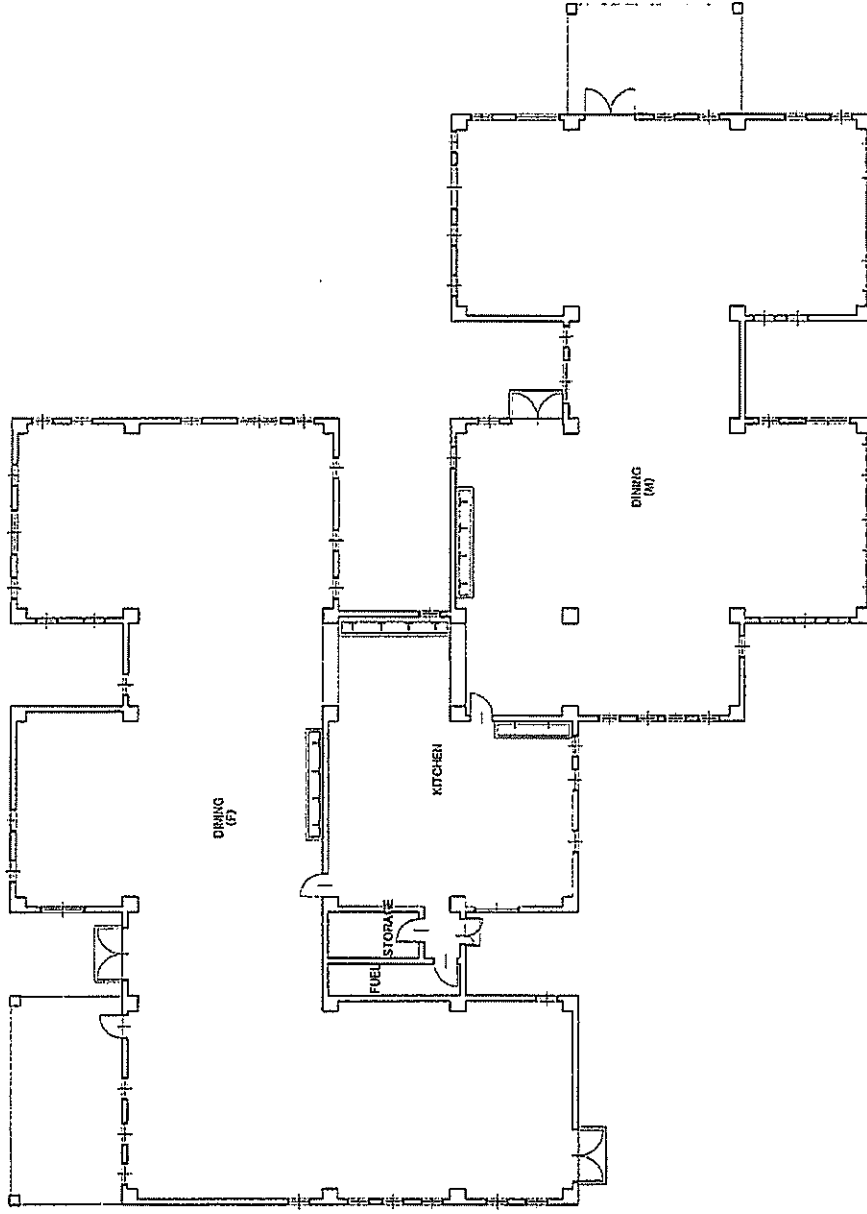
Hostel 1FL Plan

Hostel Plan

the Project for Rehabilitation of Education College in the Republic of the Union of Myanmar

20 Facilities Plan (Dining Hall)

Handwritten mark



Dining Hall GFL Plan

the Project for Rehabilitation of Education College in the Republic of the Union of Myanmar

Handwritten mark

5. 參考資料

5. 参考資料

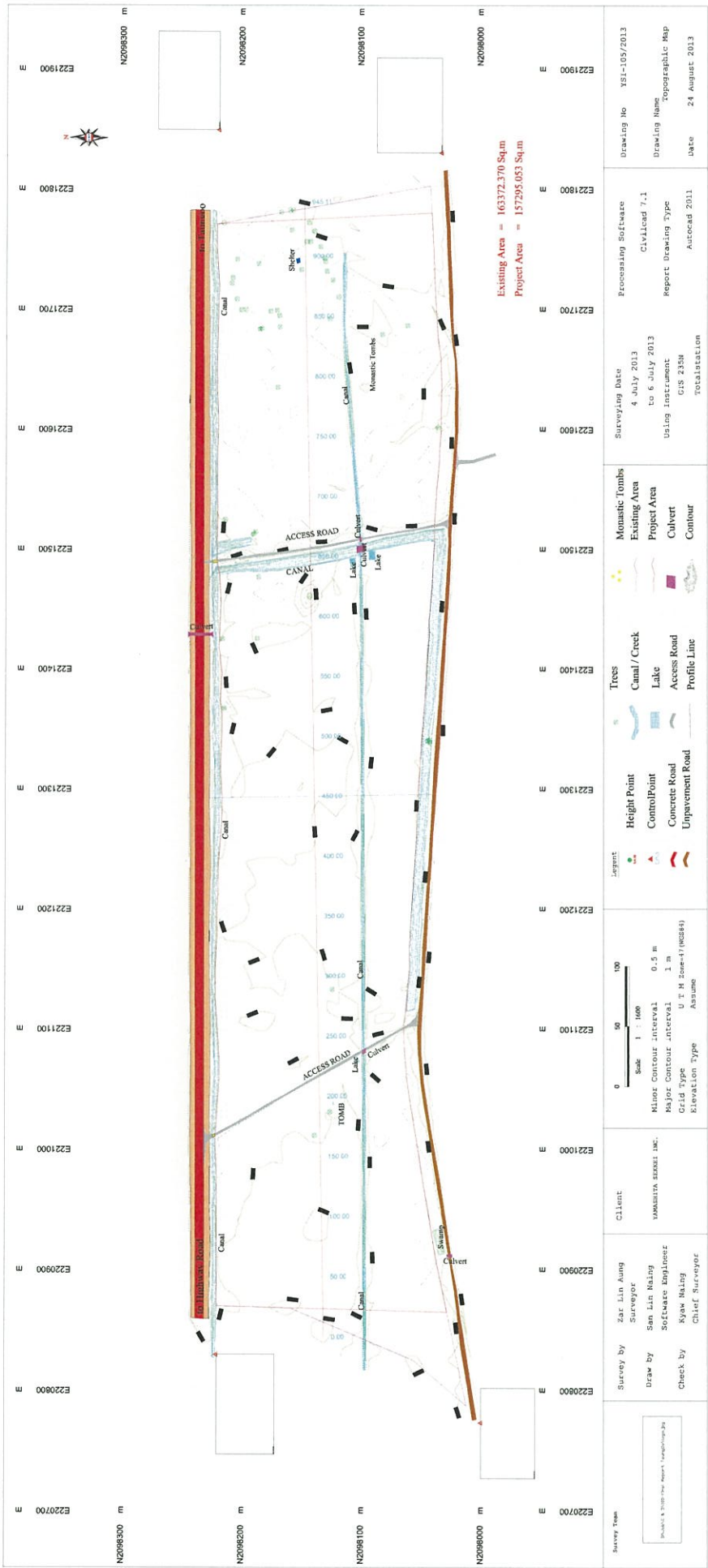
番号	資料の名称	オリジナル コピーの別	発行社等(発行年)
(1) 標準機材リスト			
1.	Minimum Standard List for Scientific Experiment(Practicing School)	ハードコピー	教育省(不明)
2.	Minimum Standard List for Co-curricular Subjects	ハードコピー	教育省(不明)
3.	Minimum Standard List for LL, Computer Room	ハードコピー	教育省(不明)
4.	Minimum Standard List for Science Equipment	ハードコピー	教育省(不明)
5.	List for Apparatus/Materials for Education College	ハードコピー	教育省(不明)
6.	Standard Furniture List for Education College and Practicing School	ハードコピー	教育省(不明)
(2) 教員養成大学の教科書			
1) DTEd 1 年次			
7.	Education Theory (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(2009年11月)
8.	Education Psychology (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
9.	Myanmar (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
10.	English Language Teaching	コピー(製本)	教育省(不明)
11.	English for the Teacher Book 1	コピー(製本)	教育省(不明)
12.	Mathematics (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
13.	Basic and Natural Science (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
14.	Social Studies (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
15.	Aspects of Myanmar (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
2) DTEd 2 年次			
16.	Education Theory (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
17.	Education Psychology (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
18.	Myanmar (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
19.	English Language Teaching	コピー(製本)	教育省(不明)
20.	English for the Teacher Book 2	コピー(製本)	教育省(不明)
21.	Mathematics (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
22.	General Teaching Science (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(2009年)
23.	Geography (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(不明)
3) DTEC 1 学期			
24.	Education Theory 1st semester (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(2012年)
25.	Myanmar Methodology 1st semester (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(2012年)
26.	Method of Teaching English 1st semester (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(2012年7月)
27.	Mathematics 1st semester (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(2012年)
28.	General Science 1st semester (ミャンマー語)	コピー(製本)	教育省(2012年)

番号	資料の名称	オリジナル コピーの別	発行者等(発行年)
29.	General Science Supplement (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
30.	General and Social Science Supplement (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
31.	Social Study 1st semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
4) DTEC 2 学期			
32.	Education Theory 2nd semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
33.	Education Psychology 2nd semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
34.	Myanmar Methodology 2nd semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
35.	Method of Teaching English 2nd semester	コピー (製本)	教育省 (2012年7月)
36.	Mathematics 2nd semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
37.	General Science 2nd semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
38.	Geography 2nd semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
39.	History 2nd semester (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (2012年)
5) 現職教員通信教育コース			
40.	Education Theory (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (不明)
41.	Education Psychology (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (不明)
42.	Myanmar Methodology (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (不明)
43.	English Language Teaching	コピー (製本)	教育省 (不明)
44.	Mathematics (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (不明)
45.	General Science (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (不明)
46.	Geography (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (不明)
47.	History (ミャンマー語)	コピー (製本)	教育省 (不明)
(3) 環境社会配慮調査関連			
48.	Sending the Information related to Environmental and Social Consideration Study for the Project of the Rehabilitation of Taungoo Education Colleges	オリジナル/ コピー	教育省 (2013年)
49.	Attendant List of stakeholder meeting held by the township private community development committee with the owner of the farmland proposed for the new Education College construction Date: 3 rd Dec, 2012 (ミャンマー語)	ハードコピー	教育省 (2012年)
50.	Daw Khine Tha zin nwe Receipt (28th August 2013 for remaining 2.12 acre land)	ハードコピー	教育省 (2013年)
51.	Acknowledgement letters for stopping cultivation	ハードコピー	教育省 (2013年)
52.	Acknowledgement letters for no peasant	ハードコピー	教育省 (2013年)
53.	2013-2014 Budget year, List of the request for special grant (For Capital) (ミャンマー語)	ハードコピー	教育省 (2013年)
54.	Requesting approval for welfare fund(ミャンマー語)	ハードコピー	教育省 (2013年)
55.	Receipt for advance payment for U Khin Maung Aye (for advance)	ハードコピー	教育省 (2013年)
56.	Invitation letter for the stakeholders meetings	ハードコピー	教育省 (2013年)
57.	Confirmation for the De-sludge of Septic Tanks which will be done by Township Development Committee Service with necessary fees after the completion of the Project of the Rehabilitation of Taungoo Education Colleges.	ハードコピー	教育省 (2013年)

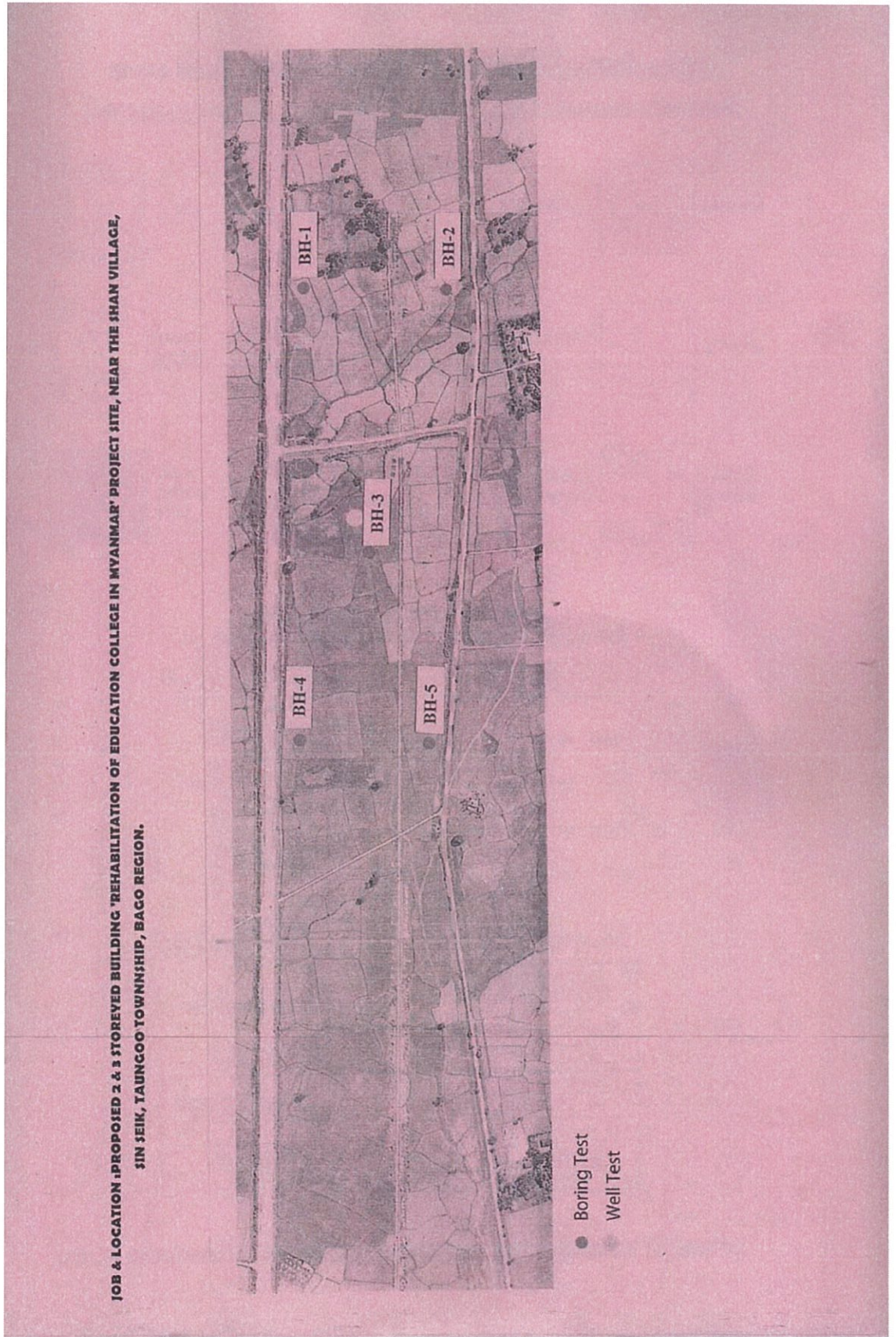
番号	資料の名称	オリジナル コピーの別	発行社等(発行年)
58.	Confirmation for Solid Waste Management which will be done by Township Development Committee Service with necessary fees after the completion of the Project of the Rehabilitation of Taungoo Education Colleges.	ハードコピー	教育省 (2013年)
59.	Working Committee	ハードコピー	教育省 (2013年)
60.	The Environmental Conservation Law 2012	オリジナル	環境保全森林省 (2012年)
61.	Myanmar Environmental Conservation Law, and Status of Environmental Rules and Guidelines Preparation	ハードコピー	環境保全森林省 (不明)
62.	Environmental Governance in Myanmar	ハードコピー	環境保全森林省 (2013年)
63.	EIA Process chart (案) (ミャンマー語)	ソフトコピー	環境保全森林省 (2013年)
64.	EIA Procedure (案) (ミャンマー語)	ソフトコピー	環境保全森林省 (2013年)
65.	IEE/EIA Types and Sizes (案) (ミャンマー語)	ソフトコピー	環境保全森林省 (2013年)
66.	Penalties (案) (ミャンマー語)	ソフトコピー	環境保全森林省 (2013年)
67.	Draft map about irrigation Channel	ハードコピー	タウングー灌漑部 (不明)
68.	LMC Area (灌漑流域図) (ミャンマー語)	ハードコピー	タウングー灌漑部 (不明)
69.	Bago Division (No. 1896-05)地図	ソフトコピー	タウングー灌漑部 (2005年)
70.	UTM Myanmar Map	ソフトコピー	タウングー灌漑部 (不明)
71.	Map of 12 acres (demolition of irrigation channel) (ミャンマー語)	ハードコピー	タウングー土地登記部 (2013年)
72.	List of Farmers in 12 acre and owners	ハードコピー	タウングー土地登記部 (2013年)
73.	Public Notice letter	ハードコピー	タウングー土地登記部 (2013年)
74.	Right of Ways (ミャンマー語)	ハードコピー	タウングー土地登記部 (2013年)
(4) 建設予定地関連			
75.	建設敷地所有区分図	ハードコピー	教育省 (2012年)
76.	建設敷地所有者名簿 (ミャンマー語)	ハードコピー	教育省 (2012年)

6. その他の資料・情報

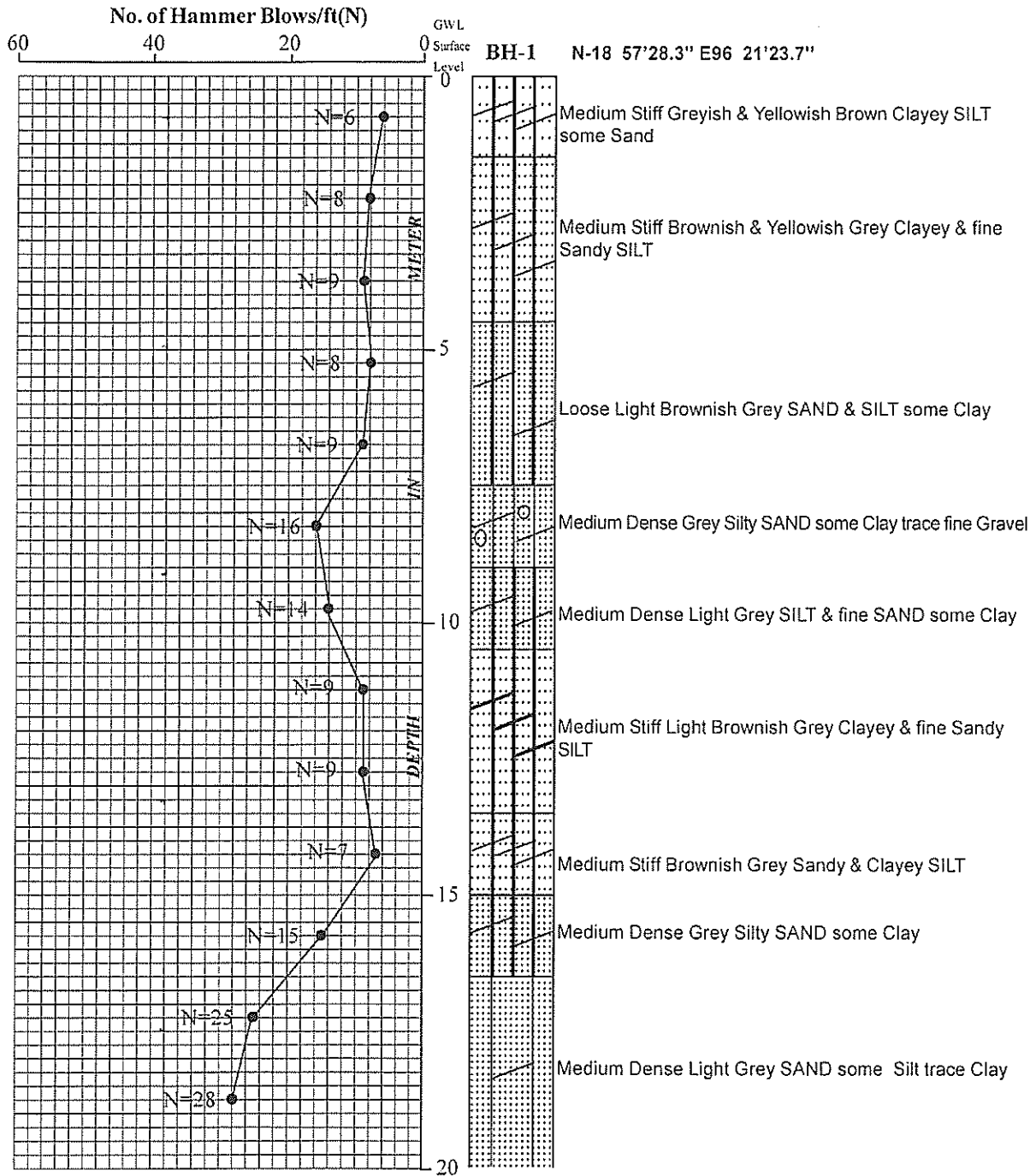
6-1 自然条件調査 測量図



6-2 自然条件調査 ボーリング調査
調査孔位置図



(1) 土質柱状図 BH-1



50 30 10 4 0 Hammer Blows/0.305m

Scale 1" = 2.5 m

Very Dense Dense Medium Dense Loose Very Loose

90 70 40 20 0 Relative Density

50 25 12 5 2 0 N-values

HARD Very Stiff Stiff Medium Stiff Soft Very Soft

8000 4000 2000 1000 500 Lb/sq.ft(U.C.S)

Consistency of Plastic soil

Figure 2.1

SOIL PROFILE OF BORE HOLE NO.(1)
PROPOSED 2 & 3 STOREYED BUILDING
'REHABILITATION OF EDUCATION
COLLEGE IN MYANMAR' PROJECT SITE,
NEAR THE SHAN VILLAGE, SIN SEIK,
TAUNGOO TOWNNSHIP, BAGO REGION.

(2) 土質柱状図 BH-2

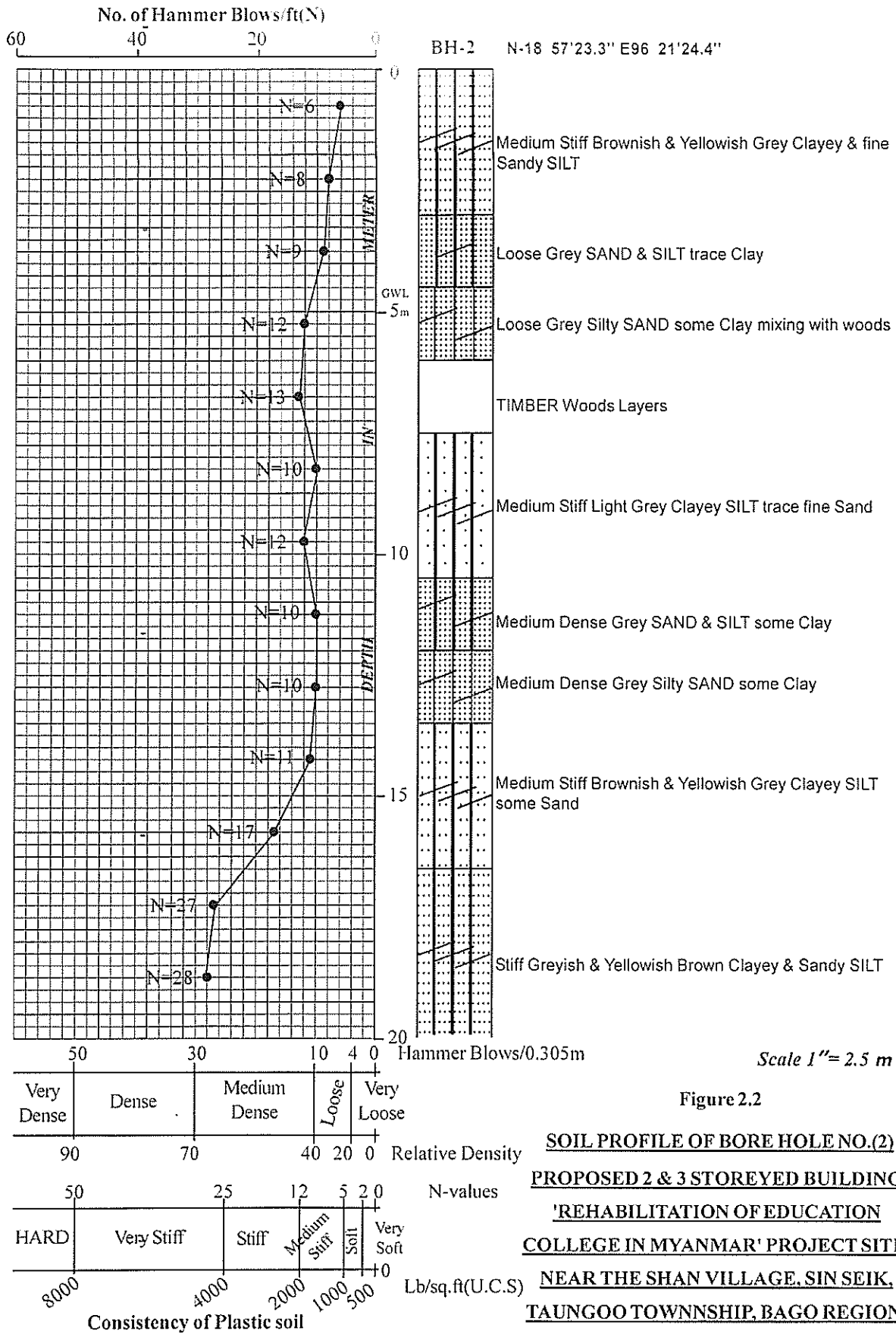
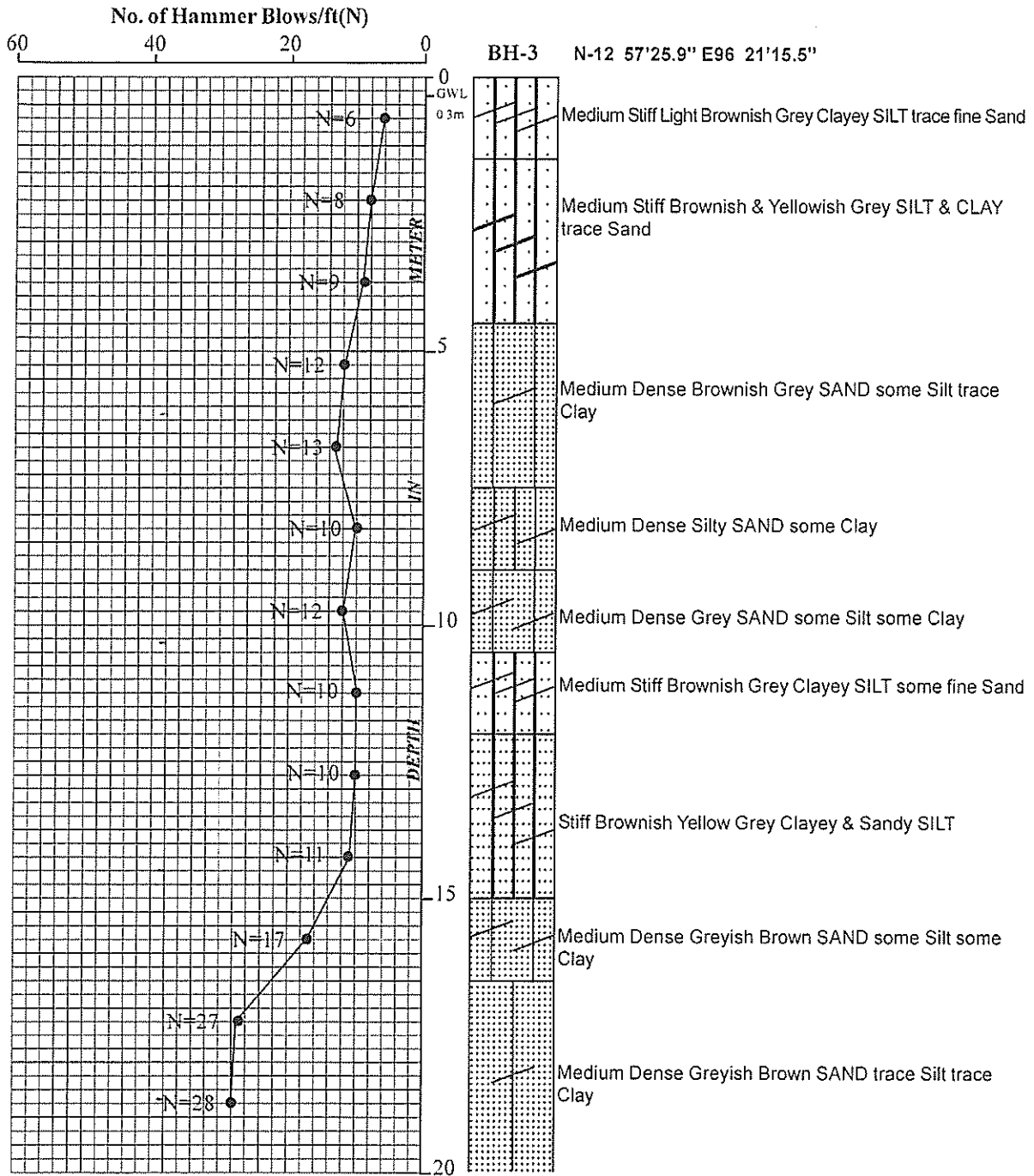


Figure 2.2

SOIL PROFILE OF BORE HOLE NO.(2)
PROPOSED 2 & 3 STOREYED BUILDING
'REHABILITATION OF EDUCATION
COLLEGE IN MYANMAR' PROJECT SITE.
NEAR THE SHAN VILLAGE, SIN SEIK,
TAUNGOO TOWNSHIP, BAGO REGION.

(3) 土質柱状図 BH-3



50 30 10 4 0 Hammer Blows/0.305m

Scale 1" = 2.5 m

Very Dense Dense Medium Dense Loose Very Loose

90 70 40 20 0 Relative Density

50 25 12 5 2 0 N-values

HARD Very Stiff Stiff Medium Stiff Soft Very Soft

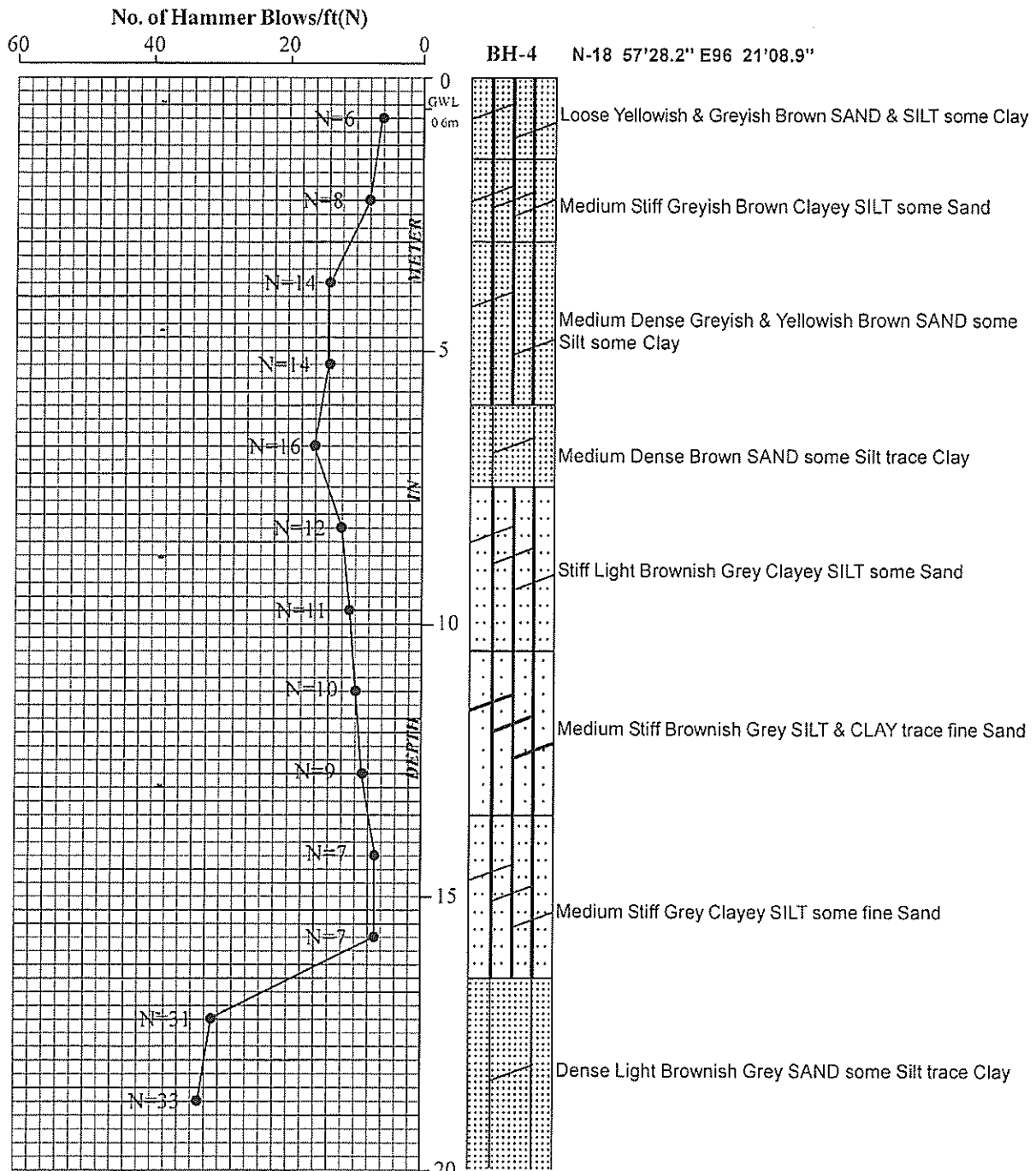
8000 4000 2000 1000 500 Lb/sq.ft(U.C.S)

Consistency of Plastic soil

Figure 2.3

SOIL PROFILE OF BORE HOLE NO.(3)
PROPOSED 2 & 3 STOREYED BUILDING
'REHABILITATION OF EDUCATION
COLLEGE IN MYANMAR' PROJECT SITE,
NEAR THE SHAN VILLAGE, SIN SEIK,
TAUNGOO TOWNSHIP, BAGO REGION.

(4) 土質柱状図 BH-4



Scale 1" = 2.5 m

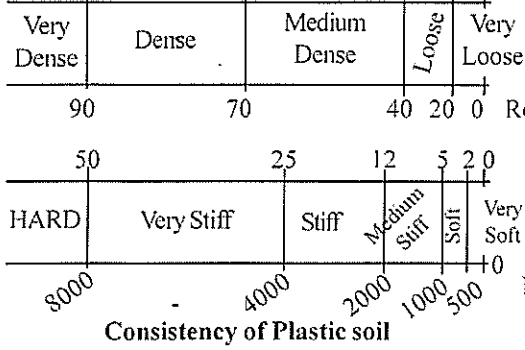
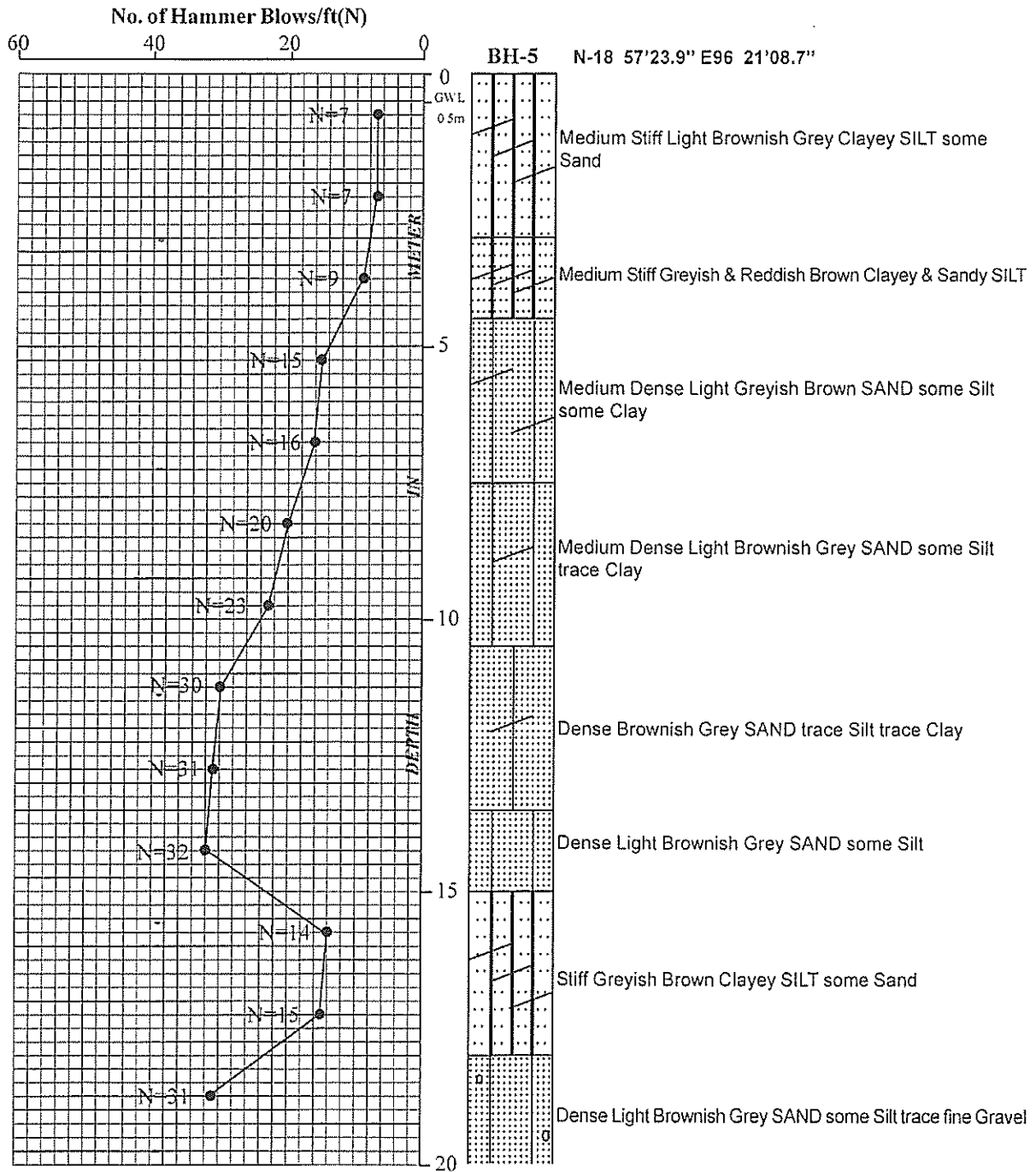


Figure 2.4

SOIL PROFILE OF BORE HOLE NO.(4)
PROPOSED 2 & 3 STOREYED BUILDING
'REHABILITATION OF EDUCATION
COLLEGE IN MYANMAR' PROJECT SITE,
NEAR THE SHAN VILLAGE, SIN SEIK,
TAUNGOO TOWNSHIP, BAGO REGION.

(5) 土質柱状図 BH-5



Hammer Blows/0.305m

Scale 1" = 2.5 m

50	30	10	4	0
Very Dense	Dense	Medium Dense	Loose	Very Loose

Figure 2.5

SOIL PROFILE OF BORE HOLE NO.(5)

PROPOSED 2 & 3 STOREYED BUILDING

'REHABILITATION OF EDUCATION

COLLEGE IN MYANMAR' PROJECT SITE,

NEAR THE SHAN VILLAGE, SIN SEIK,

TAUNGOO TOWNSHIP, BAGO REGION.

90	70	40	20	0
Very Dense	Dense	Medium Dense	Loose	Very Loose

N-values

50	25	12	5	2	0
HARD	Very Stiff	Stiff	Medium Stiff	Soft	Very Soft

Lb/sq.ft(U.C.S)

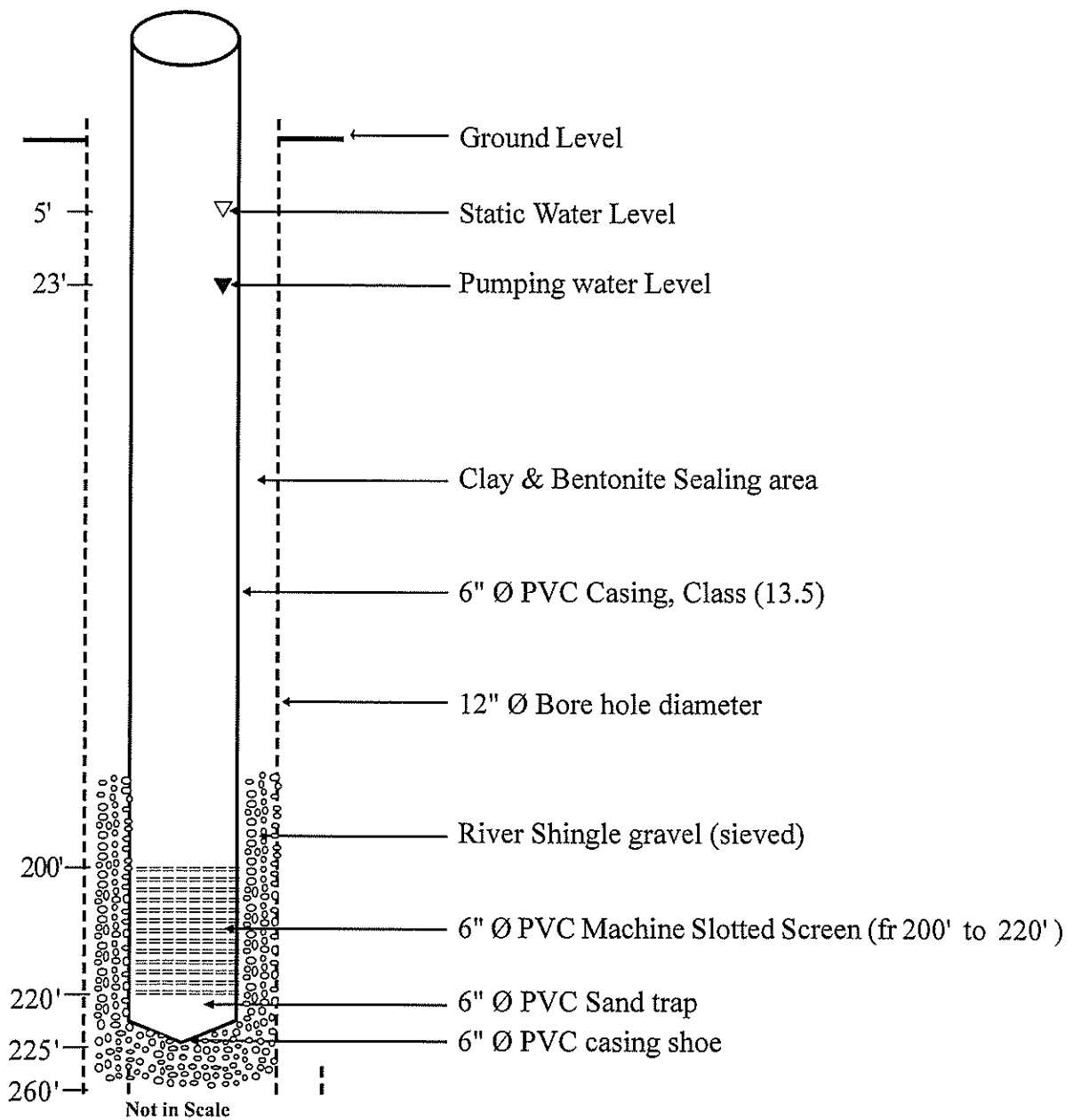
Consistency of Plastic soil

6-3 自然条件調査 井戸試掘・揚水試験

(1) 試掘井戸断面図

6"Ø Tube Well Design

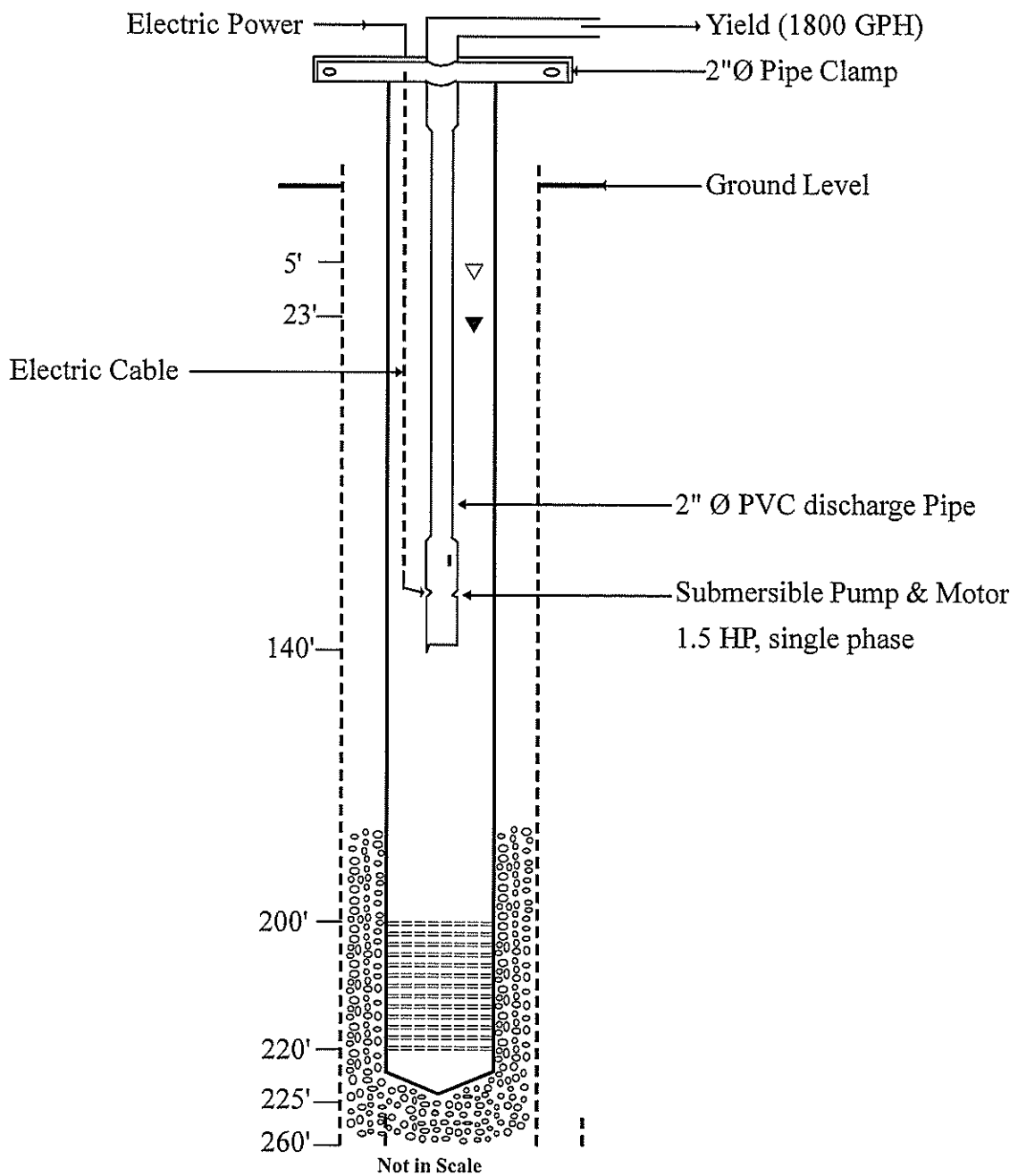
Location : New Education college project, Sinseik village, Taungoo district, Bago Region.



(2) 揚水試験状況図

Pumping Out System by submersible pump

Location : New college project, Sinseik village, Taung Ngu district, Bago Region.



(3) 水質検査結果-1



LABORATORY

Laboratory Technical Consultant: U Saw Christopher Maung
B.Sc Engg: (Civil), Dip S.E (Delft),
Lecturer of YIT (Retd.), LWSE 001 (Y.C.D.C),
Former Member (UNICEF, Water quality monitoring & Surveillance Myanmar)



No.18, Lanthit Road,
Nanthargone Quarter,
Insein Township, Yangon.
Fax: 01-644506, Tel: 01-640955,
09-73242162, 09-73225175
E-mail: isotechlaboratory@gmail.com
Website: weg-myanmar.com

WTL-RE-001

Issue Date - 01-12-2012
Effective Date - 01-12-2012
Issue: 1.0/ Page 1 of 1

W0813 053

WATER QUALITY TEST RESULTS FORM

Client U Win Myint
Nature of water Tube Well Water
Location New College Project, Taung Ngu Township.
Date and Time of collection 3.8.2013
Date and Time of arrival at Laboratory 9.8.2013
Date and Time of commencing examination 10.8.2013
Date and Time of completing 11.8.2013

Results of Water Analysis

WHO Drinking Water Guideline
(Geneva - 1993)

Table with 4 columns: Parameter, Value, Unit, and Guideline. Rows include Phosphate, pH, Colour (True), Turbidity, Conductivity, Total Hardness, Total Alkalinity, Phenolphthalein Alkalinity, Calcium Hardness, Iron, Magnesium Hardness, Manganese, Carbonate (CaCO3), Chloride (as CL), Sodium chloride (as NaCL), Bicarbonate (HCO3), Sulphate (as SO4), Total Solids, Suspended Solids, Dissolved Solids, Phenolphthalein Acidity, Methyl Orange Acidity, and Salinity.

Remark: This certificate is issued only for the receipt of the test sample.

(If any)

Tested by

Signature: Zaw Hein Oo
Name: B.Sc (Chemistry)
Chemist

ISO TECH Laboratory.

Approved by

Signature: Win Myint
Name: B.E (Civil) 1980, M.MES
Technical Officer
ISO TECH Laboratory

(a division of WEG Limited)

(4) 水質検査結果-2



LABORATORY

Laboratory Technical Consultant: U Saw Christopher Maung
B.Sc Engg: (Civil), Dip S.E (Delft),
Lecturer of YIT (Retd.), LWSE 001 (Y.C.D.C),
Former Member (UNICEF, Water quality monitoring & Surveillance Myanmar)



No.18, Lanthit Road,
Nanthargone Quarter,
Insein Township, Yangon.
Fax: 01-644506, Tel: 01-640955,
09-73242162, 09-73225175
E-mail: isotechlaboratory@gmail.com
Website: weg-myanmar.com

WTL-RE - 002

Issue Date - 1.12.2012
Effective Date - 1.12.2012
Issue No - 1.0/ Page 1 of 1

W0913 032

WATER QUALITY TEST RESULTS FORM

Client U Win Myint
Nature of Water Tube Well Water
Location New College Project, Taung Ngu Township.
Date and Time of collection _____
Date and Time of arrival at Laboratory 4.9.2013
Date and Time of Commencing examination 5.9.2013
Date and Time of Completing 6.9.2013

Results of Water Analysis

WHO Drinking Water Guideline

(Geneva - 1993)

Parameter	Unit	Value	WHO Guideline (mg/l)
Temperature (°C)	°C		
Fluoride (F)	mg/l		1.5 mg/l
Lead (as Pb)	mg/l		0.01 mg/l
Arsenic (As)	mg/l	Nil	0.01 mg/l
Nitrate (N.NO ₃)	mg/l		50 mg/l
Chlorine (Residual)	mg/l		
Ammonia (NH ₃)	mg/l		
Ammonium (NH ₄)	mg/l		
Dissolved Oxygen (DO)	mg/l		
Chemical Oxygen Demand (COD)	mg/l		---
Biochemical Oxygen Demand (BOD) (5 days at 20°C)	mg/l		

Remark: This certificate is issued only for the receipt of the test sample.
(If any)

Tested by

Signature: Hein

Name: Zaw Hein Oo
B.Sc (Chemistry)
Chemist
ISO TECH Laboratory.

Approved by

Signature: Win Myint

Name: U E (Civil) 1980, M.M.P.
Technical Officer
ISO TECH Laboratory